



Nishinomiya Municipal Central Hospital

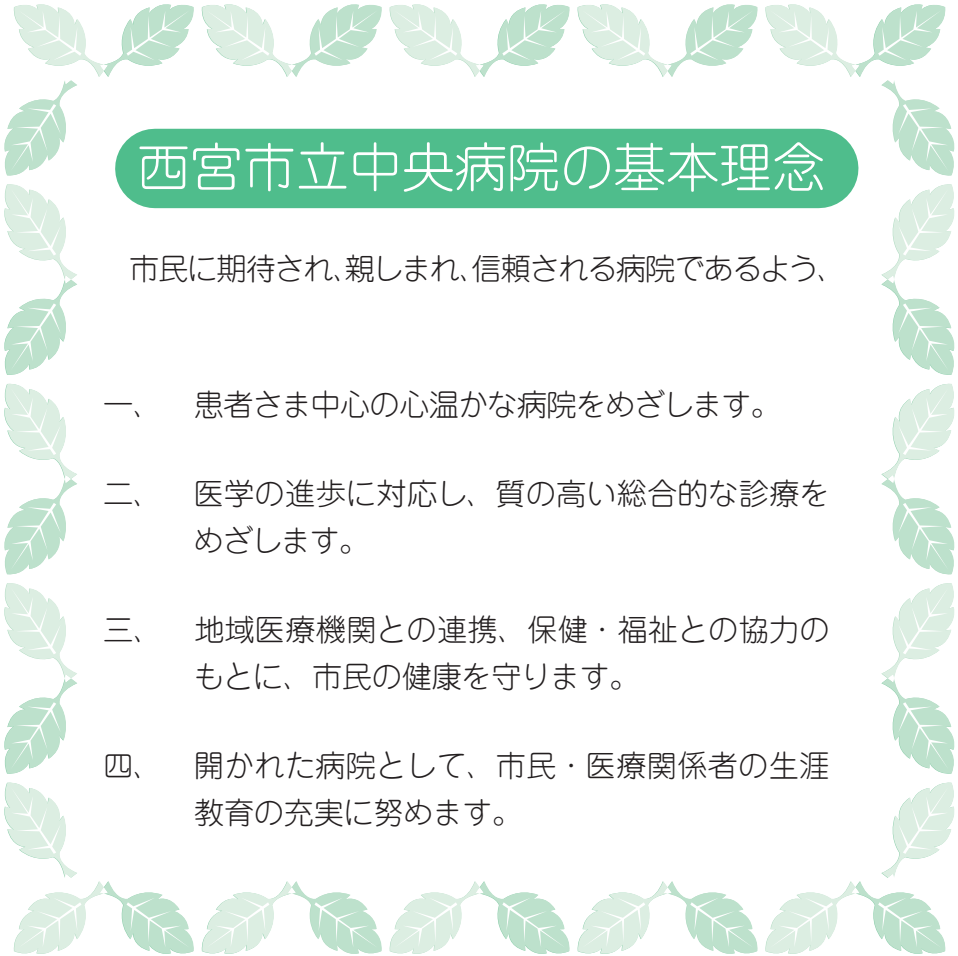
2024

高度な医療を優しく、
確実に

西宮市立中央病院

〒663-8014 西宮市林田町8番24号
TEL(0798)64-1515 FAX(0798)67-4811
FAX(0798)67-4896 (患者総合支援センター)
TEL(0798)64-1540
<https://www.hospital-nishinomiya.jp/>





西宮市立中央病院の基本理念

市民に期待され、親しまれ、信頼される病院であるよう、

- 一、 患者さま中心の心温かな病院をめざします。
- 二、 医学の進歩に対応し、質の高い総合的な診療をめざします。
- 三、 地域医療機関との連携、保健・福祉との協力のもとに、市民の健康を守ります。
- 四、 開かれた病院として、市民・医療関係者の生涯教育の充実に努めます。

目次

ご挨拶 ～病院事業管理者～	1
ご挨拶 ～院長～	2
病院の概要	3
フローのご案内	4
施設認定・主な医療機器	5
外来診療科・一般外来	6
専門外来	7
救急体制	8
セカンドオピニオン外来	9
各診療科のご案内	
■内科(呼吸器、循環器、消化器、糖尿病・内分泌、リウマチ・膠原病)	10
■外科	15
■整形外科	17
■小児科	18
■皮膚科	19
■泌尿器科	20
■眼科	21
■麻酔科、ペインクリニック内科・外科、疼痛・緩和センター	22
■歯科口腔外科	23
■臨床病理科	23
■脳神経外科	24
■耳鼻咽喉科	24
■放射線科	25
■産婦人科	25
■呼吸器センター	26
■心臓血管センター	27
■消化器センター	29
■内視鏡センター	30
■糖尿病センター	31
■超音波センター	32
■リハビリテーション科(リハビリテーションセンター)	33
■ロボット手術センター	34
その他部門のご紹介	
■薬剤部	35
■臨床検査科	36
■外来化学療法室	37
■看護部	38
■緩和ケアチーム	39
■褥瘡対策委員会	40
■NST(栄養サポートチーム)	41
■栄養管理科	42
■感染対策室	45
■医療安全対策室	46
■臨床工学科	47
■患者総合支援センター	48
■西宮市立中央病院「連携医制度」のご案内	51
検査予約システムの導入について	52
放射線科検査受付	53
内視鏡検査受付	54
人間ドックのご案内	55
診療情報提供書	57
診療情報提供書(栄養指導用)	58
放射線科検査申込書(診療情報提供書)	59
内視鏡検査申込書(診療情報提供書)	60
診療情報提供書(冠動脈CT検査依頼)	61
冠動脈CT受診依頼票	62

ご挨拶 ～病院事業管理者～



西宮市病院事業管理者

南都 伸介

西宮市の病院事業は、常に地域住民の皆様のおそばにいて生命、健康を日々お守りすることがその最大の使命であります。そして病院の機能として重要なものは、充実した急性期医療と、頻度の高い疾患に対して、安全・確実かつ高レベルの医療をお届けすることであり、阪神圏域（阪神南地域）における救急体制の充実、悪性疾患（肺がん、胃がん、大腸がん、肝がん、乳がん、すい臓がん、前立腺がんなど）に対する高度な医療の提供、さらに流行性の疾患に対する迅速かつ適切な対応が重要であると考えております。従いましてここ数年間は、COVID-19感染症に対応するとともに、通常診療も堅持してまいりました。

さて、当院は県立西宮病院と統合し、令和8年度上期に新病院として開院することを目指しています。令和2年には、統合新病院の基本方針や病床規模、診療機能などを定めた「統合再編基本計画」が策定され、建設工事がすでに山場を迎えております。統合までの当院の診療体制ですが、新病院の開院まで現体制を原則維持しながら、診療を継続します。大型医療機器等は適宜更新しており、統合までの間、各種検査や手術患者の受入などにも従来通り対応いたします。両病院の診療科目や患者情報（電子カルテ情報）は、新病院に原則継承されますので、当院をご利用されている皆様も安心して当院の継続受診をお願いします。

今しばらくは、西宮市立中央病院が、病院をご利用いただく方々はもとより、広く市民や地域の医療機関の皆様にも信頼される病院として、また、西宮市を中心とした阪神圏域（阪神南地域）における医療の公の拠点としての責務を全うできるよう尽力してまいります。

ご挨拶 ～院長～



院長
池田 聡之

令和2年4月に院長に就任してから、新型コロナ感染対策とともに5年目を迎えます。令和5年5月に5類感染症に移行し、少し下火になっていたようですが、まだ新型コロナ感染の波は続いています。長期間の感染予防の生活はこれまでの感染症の流行の常識をくつがえすような変化を社会にもたらし、夏場でもインフルエンザが流行したり、オリンピックの年に流行するといわれてきたマイコプラズマ肺炎がまた流行したり、感染弱者の患者さんが集まる病院では、これからも一定程度の感染対策の継続を必要としております。利用していただく患者さんには、ご不便を感じられることもあるかと考えますが、今後とも感染対策に、ご協力よろしくお願いいたします。

インフルエンザワクチンに加えて新型コロナウイルスワクチンの定期接種も始まり、当院でも接種ができますので、ご利用ください。

当院は、がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院として地域の急性期医療の一翼を担っております。内科は呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、糖尿病・内分泌内科、リウマチ・膠原病内科の専門内科を備え、それぞれの学会での研修指定を受けております。さらに消化器外科では令和4年11月より結腸がんに対するロボット支援手術も導入致しており、地域の先生方からのご紹介に間口を広げてこたえられるように日々努力しております。

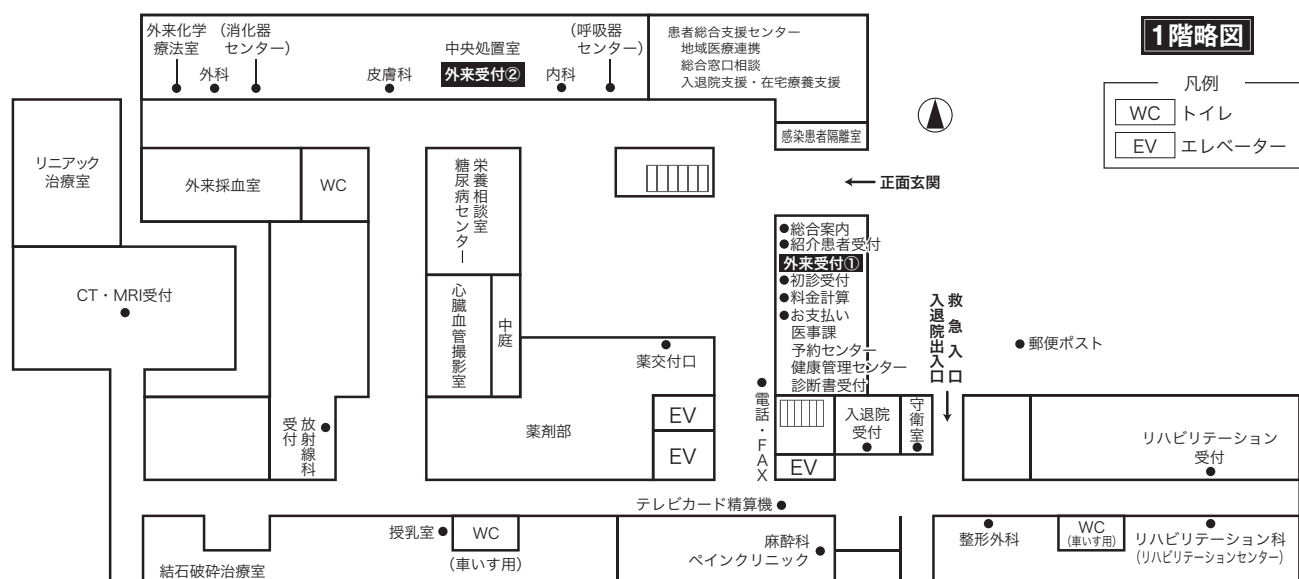
令和8年上期開院予定の、県立西宮病院との統合新病院の建設工事も着々と進んでおります。統合新病院では新型コロナ感染症に類する新たな感染症に対しても万全の対応をすべく設計の段階から工夫されており、新しい病院での診療に大きく期待するところであります。しかし、新病院の開院までは現状の場所と体制で、これまでどおりに医療を提供してまいります。今後とも、地域の先生方との緊密な連携が欠かせないと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

病院の概要

名 称	西宮市立中央病院 NISHINOMIYA MUNICIPAL CENTRAL HOSPITAL
診 療 科 目	内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病・内分泌内科、 リウマチ・膠原病内科、ペインクリニック内科、外科、呼吸器外科、消化器外科、 乳腺外科、整形外科、脳神経外科(院内紹介のみ)、ペインクリニック外科、小児科、 皮膚科、泌尿器科、産婦人科(外来のみ)、眼科、耳鼻咽喉科(休診)、 リハビリテーション科、放射線科、臨床検査科、歯科口腔外科、麻酔科
許可病床数	257床
外来診療日	月曜日～金曜日 一般外来（初診・再診） 受付時間 午前 8 時30分～午前11時 ※小児科午後一般外来…木曜日のみ 受付時間 午後 1 時～午後 3 時 専門外来 受付時間 午後 1 時～午後 3 時 ※予約のみ
休 診 日	土曜日、日曜日、国民の祝日 年末年始(12月29日～1月3日)

フロアのご案内

6階	[6階病棟] 内科(呼吸器、消化器、糖尿病・内分泌)、外科(乳腺)、小児科、皮膚科、麻酔科 歯科口腔外科、緩和病床、作業療法室、ADL室、看護実践支援室
5階	[5階病棟] 内科(呼吸器、消化器、リウマチ・膠原病)、整形外科、眼科
4階	[4階病棟] 内科(循環器、消化器) 外科(呼吸器、消化器、乳腺)、泌尿器科、HCU
3階	病院事業管理者室、院長室、看護管理室、事務部門、医局、医療安全対策室、感染対策室 講義室、第1・2応接室、図書室(職員用)
2階	小児科、泌尿器科、婦人科、眼科、脳神経外科、耳鼻咽喉科(休診)、歯科口腔外科 内視鏡センター、健康管理センター、超音波センター、中央手術室、臨床検査科、臨床病理科 生理検査受付、人間ドック
1階	外来受付②(内科、外科、皮膚科)、整形外科、麻酔科、ペインクリニック、放射線科受付 リハビリテーション科、健康管理センター(受付)、患者総合支援センター(地域医療連携 総合相談窓口、入退院支援、在宅療養支援)、薬局、外来化学療法室、栄養相談室、フットケア 総合案内、外来受付①(初診・保険確認)、会計、医事課、予約センター、採血室、救急処置室 心臓血管撮影室、MRI・CT受付
地下	食堂・喫茶室、売店、栄養管理科



施設認定

- 内科：日本内科学会認定医制度教育関連病院、日本呼吸器学会新専門医制度（呼吸器専門研修プログラム）連携施設、日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医制度関連認定施設、日本内分泌学会内分泌代謝科専門医制度認定教育施設、日本糖尿病学会認定教育施設、日本高血圧学会専門医認定施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設、日本リウマチ学会教育施設
- 外科：日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本消化器外科学会専門医修練施設、日本乳癌学会専門医制度関連施設、呼吸器外科専門医合同委員会認定専門研修連携施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本大腸肛門病学会認定施設、マンモグラフィー検診施設画像認定施設、日本食道学会全国登録認定施設
- 内科・外科：日本消化器内視鏡学会指導施設、日本消化器病学会専門医制度認定施設、日本肝臓学会認定施設
- 整形外科：日本整形外科学会専門医制度研修施設、日本手外科学会研修施設
- 小児科：日本小児科学会小児科専門医研修施設
- 皮膚科：日本皮膚科学会認定専門医研修施設
- 麻酔科：日本麻酔科学会認定病院、日本緩和医療学会認定研修施設、日本ペインクリニック学会指定研修施設、日本頭痛学会准教育施設
- 泌尿器科：日本泌尿器科学会専門医教育施設
- 放射線科：日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関、日本医学放射線学会画像診断管理認証施設
- 日本口腔外科学会研修施設
- 臨床研修病院指定
- 兵庫県指定がん診療連携拠点病院指定
- 救急告示病院
- 地域医療支援病院
- 紹介受診重点医療機関

主な医療機器

- 320列マルチスライスCT（X線コンピューター断層撮影装置）
- 3テスラMRI（磁気共鳴断層装置）
- 超音波検査装置
- リニアック（放射線治療装置）
- デジタル血管連続撮影（アンギオ）装置
- ESWL（体外衝撃波結石破碎）装置
- マンモグラフィー撮影装置
- 口腔外科用パノラマ装置
- Fat scan
- 手術支援ロボット（ダヴィンチ）
- HoLEPの装置
- 拡大内視鏡（消化器）
- ポリソムノグラフィー（睡眠時無呼吸症候群の診断）
- 血圧脈波検査装置（CAVI・ABI）
- 炭酸ガスレーザー
- 細径胸腔ビデオスコープ
- デジタルハイビジョン腹腔鏡
- カプセル内視鏡
- ダブルバルーン小腸内視鏡
- 3D内視鏡
- OCT（光干渉断層計）
- 気管支超音波内視鏡
- 消化管超音波内視鏡
- 血管内視鏡システム
- IABP（大動脈内バルーンポンプ）
- IVUS（血管内超音波検査装置）
- 臨床用ポリグラフ（心臓カテーテル用）
- 関節鏡手術システム
- X線骨密度測定装置（DEXA法）
- 筋電図、誘発電位検査装置
- 全自動遺伝子解析装置
- 2色LED光源装置
- 生化学自動分析装置
- 光眼軸長測定装置
- 眼科手術顕微鏡
- 白内障手術装置（CENTURION）
- 4K ICGカメラシステム

外来診療科・受付時間 一 般 外 来 (午前診)

月曜日～金曜日 午前 8：30～11：00 (初診・再診)

診 療 科		月	火	水	木	金
内 科	I	<初診担当医>	<初診担当医>	<初診担当医>	<初診担当医>	<初診担当医>
	II	小川 弘之	合屋佳世子	田渕優希子	合屋佳世子	田渕優希子
	III	大畑 裕之	林 典子	堀野 次郎	貫野 真由 (予約・紹介のみ)	堀野 次郎
	IV	野嶋 祐兵 (予約のみ)	第1・3・5週 足達 第2・4週 高安 (予約のみ)	野嶋 祐兵 (予約のみ)	足達 英悟 (予約のみ)	高安幸太郎 (予約のみ)
呼 吸 器 セ ン タ ー (内科V診)		二木 俊江	軸屋龍太郎	池田 聡之	日下部祥人	リウマチ・膠原病 平野 亨
外 科	I	大西 直	上島 成幸	<初診担当医>	藤江裕二郎	桧垣 直純
	II			林田 博人		林田 博人
	III					足立 真一
消化器センター	内 科	小川 弘之	林 典子			堀野 次郎
	外 科	大西 直	上島 成幸		藤江裕二郎	足立 真一
呼吸器センター	内 科	二木 俊江	軸屋龍太郎	池田 聡之	日下部祥人	
	外 科					桧垣 直純
脳 神 経 外 科※		山本 暁大		棕本 悠嗣		細見 晃一
整 形 外 科	I 初診のみ	田邊 勝久 (予約・紹介のみ)	中島 恭哉 (予約・紹介のみ)	岸本 紘樹 (9:30～)	金子 恵子 (予約・紹介のみ)	丹澤 俊樹
	II	中島 恭哉 (予約・紹介のみ)	金子 恵子 (予約・紹介のみ)		田邊 勝久 (予約・紹介のみ)	
	III		田邊 勝久 (予約・紹介のみ)			
小 児 科	I	麻生 和良	村上 洋介	神経外来 第1・3・5週 服部 第2・4週 松岡	村上 洋介	麻生 和良
	II	西村 圭祐	濱田 賢	交替制	西村 圭祐	濱田 賢
皮 膚 科	I	西岡 美南 (予約・紹介のみ)	晴木 健人	西岡 美南	熊野 公子	西岡 美南 (予約・紹介のみ)
	II	晴木 健人 (予約・紹介のみ)	大桑 槇子	大桑 槇子	晴木 健人	大桑 槇子 (予約・紹介のみ)
泌 尿 器 科		上田 康生	田中 亘	上田 康生	泌尿器医師	交替制
		田中 亘	元木 宣孝	元木 宣孝		
婦 人 科		杉本 美樹	綾田 昌弘	綾田 昌弘	綾田 昌弘	
眼 科	I				各医師交替制	金山 雅子
	II	日山 英子	田代久美子 (予約・眼科再診のみ)	田代久美子 (予約・紹介・眼科再診のみ)		田代久美子 (予約・紹介・眼科再診のみ)
放 射 線 科		鏑本美津子 藤田 眞	鏑本美津子	鏑本美津子	鏑本美津子 藤田 眞	鏑本美津子 藤田 眞
麻 酔 科・ ペインクリニック	I	平井 康富	前田 倫	前田 倫	前田 倫	前田 倫
	II		(隔週)菅島／塩飽	塩飽 堯之	菅島 裕美	松村 陽子
	III			松村 陽子 (隔週)	塩飽 堯之	
歯 科 口 腔 外 科	I	交替制(岩井・西村・網野・奥村) (予約・紹介のみ)	岩井 聡一	岩井 聡一	岩井 聡一	岩井 聡一
	II	手術	西村 遵也	西村 遵也	西村 遵也	西村 遵也
	III 外来手術		網野かよ子		網野かよ子	

※ 脳神経外科は一般診療および紹介患者の受入れを休止しています。

令和 6 年10月現在

専門外来 (午後診)

月曜日～金曜日 午後 1:00～3:00

診療科		月	火	水	木	金
内科	I	糖尿病・内分泌 貫野 (予約のみ)	呼吸器 辻 (予約のみ)	消化器 濱野 (第1・3・5週) (予約のみ) 糖尿病・内分泌 青木 (第2・4週) (予約のみ)	呼吸器 木島 (予約のみ)	消化器・ 内視鏡治療専門外来 林 (14:00～15:00 予約のみ)
	II	消化器 小川 (予約のみ)	消化器 藤永 (予約のみ)	糖尿病・内分泌 合屋 (予約のみ)	リウマチ・膠原病 小川(恭) (予約のみ)	リウマチ・膠原病 平野 (第1・3・5週) (予約のみ) 竹中 (第2・4週) (予約のみ)
	III	消化器 大畑 (予約のみ)	消化器 濱野 (予約のみ)		消化器 小川 (予約のみ)	消化器 大畑 (予約のみ)
	IV	ペースメーカー外来 (最終週)	循環器 南都 (予約のみ)	不整脈外来 上松 (予約のみ)	消化器 村上 (予約のみ)	呼吸器 仲谷 (予約のみ)
	V	呼吸器 日下部 (予約のみ)	呼吸器 木島 (予約のみ)	呼吸器 池田 (予約のみ)	呼吸器 二木 (予約のみ)	呼吸器 軸屋 (予約のみ)
外科	I	ヘルニア・消化器 大西 (予約のみ)	消化器 上島 (予約のみ)		消化器 藤江 (予約のみ)	呼吸器 桧垣 (予約のみ)
	II	乳腺・内分泌 林田 (予約のみ)		乳がん検診 永井 (第1・3・5週)	乳腺・内分泌 林田 (予約のみ)	乳腺・内分泌 林田 (初診／予約不要)
	III				呼吸器 桧垣 (予約のみ)	消化器 足立 (予約のみ)
小児科		慢性外来	特殊発達外来 岩越 (第1週) 予防接種 (第2～5週)	神経外来	一般外来 心臓外来	内分泌外来 (第2・4週) 糖尿病外来 (第3週)
麻酔科・ペインクリニック		透視下ブロック	頭痛・顔面痛外来 (交替制)	緩和ケア外来 (交替制)	透視下ブロック (交替制)	透視下ブロック
放射線科		鰐本 藤田 放射線治療	鰐本 藤田	鰐本 藤田	鰐本 藤田 放射線治療	鰐本 藤田

令和6年10月現在

救急体制

当院では、西宮市の救急医療システムの中で、主に2次救急医療の役割を担っています。

《受入の対象となる患者さん》

- ◇ 地域の診療所からの紹介患者さん
- ◇ 救急車による搬送患者さん

地域の診療所で診療を受け、検査や入院が必要とされる患者さんのご紹介に対応します。
ご紹介いただける患者さんには“紹介状”をお渡しく下さい。

■中央病院の救急医療体制

令和6年10月現在

区 分	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
小児科2次救急	18:00～ 翌朝9:00	18:00～ 翌朝9:00	—	—	—	—
外科1次救急	〈第1・3・5週〉 17:00～ 翌朝8:00	—	—	—	17:00～ 翌朝8:00	—
外科2次救急	〈第1・3・5週〉 17:00～21:00	—	〈第1・4週〉 17:00～21:00	〈第2週〉 17:00～21:00	17:00～ 翌朝8:00	—
内科2次救急	〈第2・4週〉 17:00～21:00	17:00～21:00	〈第2・3・5週〉 17:00～21:00	〈第2週以外〉 17:00～21:00	〈第1週・最終週 以外の日〉 17:00～翌朝8:00	9:00～12:00

※月曜日～木曜日および土曜日の内科・外科2次救急は祝日は行いませんので、ご注意ください。

セカンドオピニオン外来

当院ではセカンドオピニオン外来を開設しています。現在、当院以外の医療機関にかかられている患者さんで、診断や今後の治療法などについて、主治医以外の医師の意見をお求めの方に対し、当院の専門医がセカンドオピニオンをご提供します。

なお、当院での検査・投薬は行いません。

セカンドオピニオン対象科・対象疾患等

※料金：8,360円(税込)

※予約状況等の都合により、受診は担当日以外の曜日・時間帯となることがあります。

診療科	担当医師	専門分野
内 科	池 田 聡 之	呼吸器
	日下部 祥 人	呼吸器
	二 木 俊 江	呼吸器
	軸 屋 龍太郎	呼吸器
	南 都 伸 介	循環器
	野 嶋 祐 兵	循環器
	足 達 英 悟	循環器
	小 川 弘 之	消化器
	大 畑 裕 之	消化器
	堀 野 次 郎	消化器
	林 典 子	消化器
	濱 野 美 奈	消化器
	藤 永 哲 治	消化器
外 科	大 西 直	消化器（下部消化管） 鼠径ヘルニア
	上 島 成 幸	消化器（肝胆膵）
	林 田 博 人	乳腺・甲状腺
	桧 垣 直 純	呼吸器
泌尿器科	上 田 康 生	泌尿器
歯科口腔外科	岩 井 聡 一	歯科口腔外科

問合せ先

西宮市立中央病院 患者総合支援センター

電話（0798）64－1540

FAX（0798）67－4896

呼吸器内科

診療内容の概要	特徴・特色
肺癌、肺炎、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、間質性肺炎、睡眠時無呼吸症候群、慢性咳嗽などの呼吸器疾患全般。	肺癌：肺癌ドックでの早期発見、外科との連携による手術療法、殺細胞性抗癌剤、分子標的剤、免疫チェックポイント阻害剤等による化学療法(外来化学療法も含む)、放射線療法等の集学的治療による個別化治療を促進し、根治、生存期間の延長を目指します。 気管支喘息：吸入ステロイド療法を柱にした長期コントロール及び喘息死の撲滅を目標とします。 COPD：禁煙指導、気管支拡張剤(吸入型)を中心とした長期コントロール及び在宅酸素療法、呼吸リハビリを行っています。 睡眠時無呼吸症候群：1泊入院のポリソムノグラフィー検査で診断をし、CPAP治療の導入を行っています。



池田 聡之(院長)

専門：呼吸器

資格：日本内科学会認定医、指導医
日本呼吸器学会専門医、指導医
兵庫医科大学臨床教育教授



日下部 祥人(内科部長
兼呼吸器内科部長)

専門：呼吸器

資格：日本内科学会認定医、指導医
日本呼吸器学会専門医

二木 俊江(内科部長
兼呼吸器内科部長)

専門：呼吸器

資格：日本内科学会総合内科専門医、指導医
日本呼吸器学会専門医、指導医
日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医、指導医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医



軸屋 龍太郎(内科部長
兼呼吸器内科部長)

専門：呼吸器

木島 涼(内科医師)

専門：呼吸器

仲谷 勇輝(内科医師)

専門：呼吸器

辻 哲顕(内科医師)

専門：呼吸器

循環器内科

診療内容の概要	特徴・特色
高血圧、心不全、弁膜症、不整脈、冠動脈、末梢動脈疾患など循環器疾患全般。	1. 冠動脈造影検査(CAG)、血行再建術(PCI) 2. 閉塞性動脈硬化症(ASO)に対する血行再建術(EVT) 3. 徐脈性不整脈に対する永久ペースメーカー植込 4. 心臓超音波による心疾患精査(経食道心エコーを含む) 5. 下肢血管エコーによる閉塞性動脈硬化症、深部静脈血栓症の診断 6. エルゴメーター負荷心電図 7. 冠動脈CTによる虚血性心疾患の診断、心臓MRIによる心筋バイアビリティの評価 8. 皮膚組織灌流圧(SPP)検査導入による他科(皮膚科、糖尿病科)と連携したフットケアチーム医療



野嶋 祐兵（内科部長
兼循環器内科部長
兼心臓血管センター長
兼臨床検査科部長）

專門：循環器

資格：日本内科学会総合内科専門医、指導医
日本循環器学会専門医、近畿支部評議員
日本心血管インターベンション治療学会専門医
兵庫医科大学臨床教育教授



足達 英悟 (内科部長
兼循環器内科部長)

專門：循環器

資格：日本内科学会総合内科専門医、指導医
日本循環器学会専門医
日本心血管インターベンション治療学会専門医
日本リハビリテーション学会リハビリテーション指導士



南都 伸介 (病院事業管理者
兼循環器内科顧問)

專門：循環器

冠動脈インターベンション
資格：日本内科学会認定内科医、指導医
日本循環器学会認定循環器専門医
日本心血管インターベンション治療学会名誉専門医
日本心臓血管内視鏡学会認定医、指導医
日本超音波学会認定超音波専門医、指導医
日本高血圧学会高血圧専門医

高安 幸太郎 (内科医長)

專門：循環器

資格：日本内科学会認定医、指導医
日本循環器学会専門医

小山 訓 (内科医師)

專門：循環器

資格：産業医

非常勤医師紹介

上松 弘幸（関西労災病院循環器内科）

專門：循環器

資格：日本内科学会認定内科医
力テーテル左心耳閉鎖術実施医

消化器内科

診療内容の概要	特徴・特色
消化器（上部・下部消化管及び肝胆膵）疾患全般。	上部・下部消化管（小腸含む）の内視鏡的診断と治療（食道静脈瘤治療、止血術、ポリペクトミー、粘膜切除〈EMR〉、粘膜下層剥離〈ESD〉、胃ろう造設〈PEG〉、総胆管結石砕石〈EST〉、超音波内視鏡下穿刺術〈EUS-FNA〉など） 急性肝炎、慢性肝炎、肝硬変の診断と治療。 肝癌の診断と治療。 炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎、クローン病）の診断と治療。 上部・下部消化管癌、肝・胆・膵、消化器癌の化学療法。



小川 弘之

副院長
兼内科主任部長
兼消化器内科主任部長
兼皮膚科主任部長
兼臨床病理科主任部長
兼内視鏡センター長
兼健康管理センター長
兼患者総合支援センター長

専門：消化器

資格：日本内科学会総合内科専門医、指導医
日本消化器病学会専門医、指導医
日本消化器内視鏡学会専門医、指導医
日本肝臓学会専門医、指導医
日本消化管学会胃腸科専門医
日本ヘリコバクター学会ピロリ菌感染症認定医
日本医師会認定産業医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
兵庫医科大学臨床教育教授



大畑 裕之

内科主任部長
兼消化器内科主任部長
兼超音波センター長

専門：消化器



堀野 次郎

内科部長
兼消化器内科部長

専門：消化器

林

典子

内科部長
兼消化器内科部長

専門：消化器

資格：日本内科学会総合内科専門医、指導医
日本消化器病学会専門医
日本消化器内視鏡学会専門医
日本肝臓学会専門医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
日本医師会認定産業医

濱野 美奈

内科部長
兼消化器内科部長

専門：消化器

資格：日本内科学会総合内科専門医、指導医
日本消化器病学会専門医
日本消化器内視鏡学会専門医
日本肝臓学会専門医・暫定指導医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
身体障害（肝臓機能障害）指定医

藤永

哲治

内科部長
兼消化器内科部長

専門：消化器

資格：日本内科学会認定医、指導医
日本消化器病学会専門医
日本消化器内視鏡学会専門医

村上 文香

内科医長

専門：消化器

資格：日本内科学会認定医
日本消化器病学会専門医
日本消化器内視鏡学会専門医

古谷

亜利沙

内科医師

専門：消化器

内科
外科
科
整形外科
小児科
皮膚科
泌尿器科
眼科
科
麻酔科
産婦人科
口腔科
臨床病理科
脳神経外科
耳鼻咽喉科
放射線科
産婦人科
呼吸器科
心臓血管科
消化器科
内視鏡科
糖尿病科
超音波科
ロボット手術科
薬剤部
臨床検査科
外来化学療法室
看護部
緩和ケア委員会
NSST
栄養管理科
感染対策室
医療安全対策室
臨床工学技士科
患者総合連携部
のこ案内

糖尿病・内分泌内科

診療内容の概要	特徴・特色
<糖尿病> 生活習慣病としての糖尿病の管理からインスリンの外来導入、教育入院・治療まで、チーム医療で対応します。	●糖尿病専門外来を拡充し、週5日（月～金）の診療体制。 ●糖尿病センターでは包括的な糖尿病ケアを目標に、糖尿病チームが中心となり療養指導を行っています。フットケア外来と看護外来を開設しています。（予約制）。 ●通院でのインスリン治療の導入のため、インスリン導入外来を併設。 ●FGM機器を用いた持続血糖モニターが可能です。 ●内臓脂肪の定量測定（Fat scan）や血圧脈波検査（CAVI・ABI）が可能です、肥満や動脈硬化の評価を行います。 ●公開糖尿病教室（月1回、一般参加可）では、セルフケアを応援します。
<内分泌代謝> 間脳下垂体疾患、副腎疾患、甲状腺疾患、二次性高血圧などの診断・治療	甲状腺超音波、下垂体MRI、各種負荷試験が可能。



合屋 佳世子 （内科部長
兼糖尿病・内分泌内科部長
兼糖尿病センター長）

専門：糖尿病・内分泌代謝
資格：日本内科学会総合内科専門医、指導医
日本糖尿病学会専門医、指導医、近畿支部評議員
日本内分泌学会内分泌代謝科専門医、指導医
認知症サポート医
医学博士

貫野 真由（内科医長）

専門：糖尿病・内分泌代謝
資格：日本内科学会認定医、指導医
日本糖尿病学会専門医
日本内分泌学会内分泌代謝科専門医

田淵 優希子（内科医長）

専門：糖尿病・内分泌代謝
資格：日本内科学会総合内科専門医、指導医
日本糖尿病学会専門医、指導医
日本内分泌学会内分泌代謝科専門医、指導医
日本間脳下垂体腫瘍学会学術評議員
医学博士

青木 映里香（内科医師）

専門：糖尿病・内分泌代謝

糖尿病看護認定看護師1名、日本糖尿病療養指導士10名、糖尿病療養指導士兵庫認定2名

■糖尿病教室のご案内

月1回水曜の午後3時から医師・管理栄養士・薬剤師・理学療法士・看護師による「公開糖尿病教室」を開催しています。

糖尿病は患者さんがどのような薬剤治療を行う場合でも、自己管理することが重要な病気です。糖尿病があっても健康な生活を過ごすには、糖尿病の正しい知識をもち、血糖をコントロールして、合併症を予防する必要があります。糖尿病教室は患者さんが糖尿病について正しく理解し、積極的に自己の生活管理ができるようになるための教室です。一般の方も予約無しでご参加いただけます。患者さんの療養にお役立てください。毎月のプログラムは病院ホームページをご覧ください。

■栄養指導のご案内

個別栄養指導

当院に入院・通院されている患者さん以外にも、地域の医療機関の先生方の指示のもと、管理栄養士が患者さん個々の生活習慣に応じた食生活をアドバイス致します。詳しくは患者総合支援センター（0798-64-1540）へ電話でお問い合わせください。FAXにて栄養指導用診療情報提供書を送らせていただきます。

リウマチ・膠原病内科

診療内容の概要	特徴・特色
関節リウマチ	早期診断、早期治療介入による関節炎の抑制、関節破壊の防止に努めます。 従来からの抗リウマチ薬に加え、生物学的製剤やJAK阻害薬など新規薬剤を導入しています。
膠原病全般(全身性エリテマトーデス、多発性筋炎、皮膚筋炎、強皮症、リウマチ性多発筋痛症、高安動脈炎、ANCA関連血管炎、ベーチェット病など)	免疫抑制薬を含めた積極的な治療により、長期的な視点で臓器障害の防止に努めます。 長期使用となりがちなステロイドの副作用の管理を行います。
アレルギー疾患(喘息、好酸球増多症など)	ステロイド吸入療法、難治性の場合には生物学的製剤の導入などの治療を行います。



平野 亨 (内科部長
兼リウマチ・膠原病内科部長)

専門：リウマチ・膠原病・アレルギー
資格：日本内科学会総合内科専門医、指導医
日本リウマチ学会リウマチ専門医、指導医
日本アレルギー学会専門医
大阪大学招へい教授



小川 恭生 (内科医長)

専門：リウマチ・膠原病・アレルギー
資格：日本内科学会内科認定医、指導医
日本リウマチ学会リウマチ専門医、指導医
インфекションコントロールドクター(ICD)



竹中 祐子 (内科医師)

専門：リウマチ・膠原病

外科

専門科	診療内容の概要	特徴・特色
上部消化管 (担当:足立)	食道癌、胃癌	放射線治療、化学療法、手術療法など様々な治療法を取り入れた集学的治療。適応症例に対しては鏡視下手術
	食道・胃良性腫瘍	鏡視下切除手術 胃の良性腫瘍に対しては内視鏡と腹腔鏡の合同手術
下部消化管 (担当：大西、藤江)	大腸癌	腹腔鏡下手術率90% ロボット支援大腸癌手術 機能温存を目指した神経温存直腸切除術 できるだけ肛門を温存する超低位前方切除術、括約筋間切除術 最新の放射線治療機器を駆使した直腸癌治療
	大腸良性疾病患	腹腔鏡下手術 直腸脱に対する腹腔鏡下直腸固定術
	虫垂炎	腹腔鏡下虫垂切除術 小児に対する単孔式腹腔鏡下手術
肝胆膵 (担当：上島)	肝臓癌	肝予備能を考慮し、術前ナビゲーションを用いた肝癌切除術、小型肝癌に対する術中ラジオ波凝固療法(RFA)、適応症例に対しては化学療法、経肝動脈的化学療法を組み合わせた集学的治療
	膵臓癌・胆道癌	術前術後化学療法を組み合わせた根治切除術 化学療法、放射線治療を組み合わせた集学的治療
	胆石症	腹腔鏡下胆嚢摘出術・総胆管切石術、できるだけ単孔式手術
ヘルニア (担当：大西)	鼠径ヘルニア	症例に合わせた腹腔鏡下ヘルニア修復術、前方からの修復手術、働く方を対象に手術当日入院制度
呼吸器外科 (担当：桧垣)	原発性・転移性肺癌	鏡視下手術 新規分子標的薬や免疫チェックポイント阻害剤などを用いた化学療法 化学療法、放射線療法、免疫療法を組み合わせた集学的治療
	縦隔腫瘍	鏡視下縦隔腫瘍切除術
	気胸	鏡視下肺嚢胞切除術
乳腺外科 (担当：林田)	乳癌	乳癌検診 センチネルリンパ節生検と乳房温存手術 放射線治療、化学療法、ホルモン療法を組み合わせた集学的治療

- * 当科では低侵襲で患者さんにやさしい腹腔鏡・胸腔鏡下手術を積極的に導入しています。
- * 消化器病の診断から治療まで最先端技術を駆使し、患者さんに喜んでいただける医療を目指します。
- * 2022年度より最先端技術をご提供すべく、ロボット支援大腸癌手術を導入しました。
- * 消化器外科、呼吸器外科、乳腺外科の各専門医が担当させていただきます。
- * 癌疼痛をお持ちの患者さんに対して麻酔科の協力によりペインクリニックもいたしております。
- * 上の表に記載しているもの以外にも、対応可能なものがありますのでお尋ねください。
- * 休日・夜間も2名のオンコール体制で、緊急疾患に速やかに対応いたしますのでご連絡ください。



大西 直

副院長
兼外科主任部長
兼消化器外科主任部長
兼産婦人科主任部長
兼眼科主任部長
兼消化器センター長
兼外来化学療法室室長
兼中央手術室室長
兼救急室室長

専門：下部消化器外科
鼠径ヘルニア
腹腔鏡手術
資格：日本内視鏡外科学会技術認定医
日本外科学会専門医、指導医
日本消化器外科学会専門医、指導医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
日本大腸肛門病学会専門医、指導医
日本ヘルニア学会評議員
日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会ストーマ認定士
ダヴィンチ サーティフィケート取得



松垣 直純

外科主任部長
兼呼吸器外科主任部長
兼呼吸器センター長

専門：呼吸器外科、消化器外科
資格：日本外科学会専門医、指導医
日本呼吸器外科学会専門医、評議員
肺がんCT検診認定医師
日本呼吸器学会専門医・指導医
日本消化器外科学会認定医
日本消化器病学会専門医、指導医
日本消化器内視鏡学会専門医
日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医



藤江 裕二郎

外科部長
兼消化器外科部長

専門：下部消化器外科
資格：日本外科学会専門医、指導医
日本消化器外科学会専門医、指導医
日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
日本大腸肛門病学会専門医
緩和ケア研修・がんリハビリテーション研修修了



植山 篤 (外科医師)

専門：呼吸器外科



林田 博人 (外科主任部長
兼乳腺外科主任部長)

専門：乳腺・甲状腺外科
資格：日本外科学会専門医
日本乳癌学会認定医
日本消化器外科学会認定医
検診マンモグラフィ読影認定医AS



上島 成幸

院長補佐
兼外科主任部長
兼消化器外科主任部長
兼医療技術部長
兼医療安全対策室室長

専門：消化器外科 (特に肝胆膵)
資格：日本外科学会専門医
緩和ケア研修・がんリハビリテーション研修修了



足立 真一

外科部長
兼消化器外科部長

専門：上部消化器外科
資格：日本内視鏡外科学会技術認定医
日本外科学会専門医、指導医
日本消化器外科学会専門医、指導医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
緩和ケア研修・がんリハビリテーション研修修了

整形外科

専門科	診療内容の概要	特徴・特色
手・肘・肩疾患	上肢の腱・神経損傷・骨折など外傷、腱鞘炎、手根管症候群、肘部管症候群、デュブイトレン拘縮、野球肘・肩などのスポーツ障害、肩腱板損傷、肩関節脱臼、リウマチの手・肘・肩、手足の先天性異常など。	手・肘・肩の疾患に対する全般的治療を行っています。骨折全般、ばね指、手根管症候群からスポーツ肘・肩、肩腱板損傷まで幅広く診療しております。低侵襲手術・関節鏡手術・保存的治療・リハビリテーションを含む最良の治療を心がけています。
外傷性疾患	大腿骨頸部骨折、橈骨遠位端骨折、上腕骨近位端骨折、肘脱臼骨折等、四肢各部位の外傷・骨折など。	四肢外傷性疾患に対しての可及的早期の手術、正確な治療選択、術後早期からのリハビリテーションを行っています。
関節疾患	変形性膝関節症、関節リウマチによる膝関節症、化膿性関節炎など。	骨粗鬆症に対して積極的な治療、啓蒙活動を行っています。
骨粗鬆症	投薬、骨折手術、多職種連携のリエゾンサービス。	



田邊 勝久 (整形外科主任部長
兼リハビリテーション科主任部長
兼リハビリテーションセンター長)

専門：手の手術、肘の手術
肩の手術、末梢神経外科
資格：日本整形外科学会専門医
日本整形外科学会第23回研修指導者講習会受講
日本手外科学会専門医、指導医
日本整形外科学会認定スポーツ医
日本整形外科学会認定リウマチ医
日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション医
日本骨粗鬆症学会認定医

金子 恵子 (整形外科医長)

専門：整形外科一般
資格：日本整形外科学会専門医



中島 恭哉 (整形外科部長
兼リハビリテーション科部長
兼リハビリテーションセンター部長)

専門：四肢の骨折、骨粗鬆症
資格：日本整形外科学会専門医
日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション医
日本整形外科学会認定スポーツ医
日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医
日本整形外科学会認定リウマチ医
日本骨粗鬆症学会認定医
日本人工関節学会認定医
日本リハビリテーション医学会認定臨床医
日本リウマチ財団登録医
日本スポーツ協会公認スポーツドクター
麻酔科標榜医
日本医師会認定産業医、認定健康スポーツ医
ロコモアドバイザー
義肢装具等適合判定医

非常勤医師紹介

岸本 紘樹

専門：整形外科一般

丹澤 俊樹

専門：整形外科一般

小児科

診療内容の概要	特徴・特色
気管支炎、胃腸炎などの感染症を中心に、喘息発作、その他、新生児から中学生までの子供たちのいろいろな問題に対処しています。 当院では専門的に小児内分泌疾患（低身長・甲状腺疾患等）、小児糖尿病、小児心臓病、心身症、てんかん等の神経疾患、発達障害に対応ができます。	地域に密着した小児科医院、小児科クリニックとの連携を大切にした、地域の病院としての役割を担っています。 心理士によるカウンセリングや発達テスト、心理テストも行っています。

専門外来

乳幼児検診……発育発達に関する事柄と育児相談。

特殊発達外来…西宮市立こども未来センターと共同。

予防接種外来…五種混合・四種混合・二種混合・麻疹・風疹・水痘・おたふくかぜワクチン・Hibワクチン・肺炎球菌ワクチン・BCG・日本脳炎・インフルエンザ(時期限定)・ポリオ・B型肝炎・ロタウイルス・子宮頸がん予防(HPV)。

神経外来……てんかんを中心。神経疾患対応。

慢性外来……内分泌疾患・小児糖尿病(インスリンポンプの導入)・気管支喘息・アトピー性皮膚炎・心身症・発達障害・川崎病・小児心臓病・乳児蔓状血管腫の内服治療等のフォロー。

麻生 和良 (小児科部長)

専門：小児科全般

資格：日本小児科学会専門医、指導医
兵庫医科大学臨床教育教授



村上 洋介 (小児科医務顧問)

専門：小児循環器

資格：日本小児科学会専門医、指導医
日本小児循環器学会専門医

西村 圭祐 (小児科副医長)

専門：小児科全般

資格：日本小児科学会専門医

濱田 賢 (小児科副医長)

専門：小児科全般

上好 あつ子 (公認心理師 臨床心理士)

専門：発達の遅れ(ことば、コミュニケーションなど)、自閉症、発達障害、ADHD、不登校、心身症

非常勤医師紹介

松岡 収、岩越 美恵、中島 良一、
服部 妙香、堀田 優子、岸 美成

皮膚科

診療内容の概要	特徴・特色
皮膚外科疾患：皮膚腫瘍（悪性腫瘍を含む）の切除・再建、皮膚潰瘍、熱傷、褥瘡、陥入爪、巻き爪。	入院・通院で、腫瘍切除、植皮、皮弁など手術を含めた治療（局所陰圧閉鎖療法を含む）。
免疫アレルギー性皮膚疾患：水疱症、アトピー性皮膚炎、蕁麻疹、薬剤アレルギー、接触性皮膚炎。	原因や増悪因子の検索と症状経過に応じた治療。皮内テスト・パッチテストなどに対応しています。 中等度以上のアトピー性皮膚炎に対してデュピルマブ投与及び自己注射指導可能です。
その他の皮膚疾患：蜂巣炎、丹毒、乾癬、带状疱疹、脱毛症、各種皮膚感染症など。	入院治療可。乾癬の生物学的製剤使用承認施設。NB-UVB、免疫療法(SADBE)。

* 皮内テスト・パッチテストのみの依頼、皮膚生検のみの依頼にもできる限り対応します。

西岡 美南（皮膚科医長）

専門：皮膚科全般
資格：日本皮膚科学会専門医、指導医

大桑 槇子（皮膚科副医長）

専門：皮膚科全般
資格：日本皮膚科学会専門医

晴木 健人（皮膚科医師）

専門：皮膚科全般

非常勤医師紹介

熊野 公子

専門：皮膚外科学、皮膚悪性腫瘍
ハンセン病
資格：日本皮膚科学会功労会員・大阪地方会名誉会員
日本皮膚科学会名誉会員
日本皮膚悪性腫瘍学会功労会員
日本ハンセン病学会理事
日本皮膚科学会皮膚悪性腫瘍専門医

泌尿器科

診療内容の概要	特徴・特色
泌尿器悪性腫瘍：副腎腫瘍、腎癌、腎盂癌、尿管癌、膀胱癌、前立腺癌、尿道癌、精巣腫瘍など。 尿路結石症：腎・尿管・膀胱結石。 尿路感染症：腎盂腎炎、膀胱炎、前立腺炎など。 排尿障害疾患：前立腺肥大症、尿失禁など。 小児疾患：夜尿症、停留精巣、真性包茎など。	ロボット補助下前立腺全摘術、ロボット補助下腎部分切除術。 副腎腫瘍、腎腫瘍、前立腺癌、膀胱癌に対する3次元内視鏡下ナビゲーション腹腔鏡手術、人工尿道括約筋埋め込み術。 MRI画像を用いたナビゲーション前立腺生検。 前立腺肥大症に対するレーザー手術。 ウルフ社（ドイツ）製の体外衝撃波結石破碎装置による碎石治療。レーザーを用いた内視鏡下結石破碎治療。



上田 康生（泌尿器科部長
兼ロボット手術センター長）

専門：泌尿器科全般、悪性腫瘍、腹腔鏡・ロボット手術、腎移植
 資格：日本泌尿器科学会専門医、指導医
 日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会泌尿器腹腔鏡技術認定医
 日本内視鏡外科学会認定技術認定医（泌尿器腹腔鏡）
 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
 日本臨床腎移植学会腎移植認定医
 日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会ロボット支援手術プロクター認定医
 ダヴィンチサージカルシステム認定医
 兵庫医科大学臨床教育教授



瀧内 秀和（泌尿器科医務顧問）

専門：泌尿器科全般
 悪性腫瘍、腹腔鏡手術、レーザー前立腺手術、手術ナビゲーション
 資格：日本泌尿器科学会専門医、日本臨床泌尿器科医会理事
 日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会泌尿器腹腔鏡技術認定医
 ダヴィンチサージカルシステム認定医

田中 亘（泌尿器科医師）

専門：泌尿器科全般

元木 宣孝（泌尿器科医師）

専門：泌尿器科全般

眼科

診療内容の概要	特徴・特色
眼科一般、白内障、緑内障、糖尿病網膜症、加齢黄斑変性症、ぶどう膜炎、斜視、弱視検査及び視能訓練、身体障害者認定手術対応：白内障(眼内レンズ移植)、レーザー治療(網膜光凝固術、後発白内障手術)、翼状片等の外来手術	当科は医務顧問1名、非常勤医師2名、視能訓練士3名で診療しています。 白内障、緑内障、糖尿病網膜症等の一般的な眼科疾患を中心に診療を行っています。当院での白内障手術は原則1泊2日の入院で行っており、高齢の方や糖尿病、心疾患等の基礎疾患を合併している方でも安心して治療を受けていただくことが可能です。 硝子体手術などのさらに高度な治療が必要な際には、近隣の大学病院や適切な施設へご紹介させていただきます。 その他には、糖尿病網膜症や後発白内障に対する一般的なレーザー治療や、緑内障に対する点眼治療を行っています。 視能訓練士は、眼科検査一般、視野（ゴールドマン、ハンフリー）などを行い、更に斜視、弱視の検査、視能訓練にも力を入れています。 3歳児検診などで、受診を勧められた場合は、早めの受診をお勧めします。



田代 久美子(眼科医務顧問)

専門：眼科全般
資格：日本眼科学会専門医

非常勤医師紹介

日山 英子

専門：眼科全般
資格：日本眼科学会専門医

金山 雅子

専門：眼科全般
資格：日本眼科学会専門医

麻酔科、ペインクリニック内科・外科、疼痛・緩和センター

診療内容の概要	特徴・特色
麻酔：当科は麻酔科学会認定指導医、専門医が常勤しています。2023年麻酔科管理症例904例。 術前外来：月・水・金曜日 ペインクリニック：外来診療（3診）は週5日連日行い、透視下ブロックを週3回（月・木・金曜日）実施しています。 入院診療は、脊髄刺激療法、硬膜外内視鏡、三叉神経節高周波熱凝固神経形成術などの低侵襲治療を行い、またがん患者も含めた緩和医療も行っています。緩和ケア病床2床。	高齢化・合併症例の増加にも関わらず、麻酔による重大な偶発症は発生していません。術前評価、術後鎮痛も含めて安全で確実な周術期管理を行っています。今後とも安全で良質な麻酔を行います。 当院は日本ペインクリニック学会認定施設となっています。あらゆる痛みを対象とし、筋骨格系の椎間板ヘルニア・腰部脊柱管狭窄症など神経ブロック低侵襲治療で集学的に治療しています。 頭痛、三叉神経痛、非定型顔面神経痛など頭痛に関する専門外来を設けています（火曜日・午後）。顔面・眼瞼痙攣、痙攣性斜頸、脳血管障害後の痙攣、重症の腋窩多汗症に対してボツリヌス毒素による治療も行っています。



前田 倫 (副院長
兼ペインクリニック内科・外科主任部長
兼麻酔科主任部長
兼疼痛・緩和センター長)

専門：麻酔科
ペインクリニック（痛みの治療）
頭痛診療、緩和医療
資格：日本麻酔科学会指導医・代議員
日本専門医機構麻酔科専門医
日本ペインクリニック学会専門医・理事
日本頭痛学会専門医、指導医・代議員
日本緩和医療学会専門医
日本仙腸関節研究会幹事
日本慢性疼痛学会評議員
大阪大学麻酔科学教室臨床教授
兵庫医科大学麻酔科・疼痛制御科臨床教授



松村 陽子 (麻酔科部長
兼ペインクリニック内科・外科部長)

専門：麻酔科、ペインクリニック
漢方医学、頭痛診療
資格：日本麻酔科学会指導医
日本専門医機構麻酔科専門医
日本ペインクリニック学会専門医
日本東洋医学会漢方専門医
日本頭痛学会専門医



平井 康富 (麻酔科部長
兼ペインクリニック内科・外科部長)

専門：麻酔一般
資格：日本専門医機構救急科専門医
日本抗加齢医学会専門医
日本医師会認定産業医
麻酔科標榜医



菅島 裕美 (麻酔科医長)

専門：麻酔科、ペインクリニック
資格：日本麻酔科学会指導医
日本専門医機構麻酔科専門医



井内 貴子 (麻酔科副医長)

専門：麻酔科
資格：日本麻酔科学会専門医

塩飽 堯之 (麻酔科副医長)

専門：麻酔科
資格：日本専門医機構救急科専門医
日本麻酔科学会認定医
麻酔科標榜医

歯科口腔外科

診療内容の概要	特徴・特色
・埋伏歯の抜歯、有病者の抜歯 ・口腔領域の腫瘍・嚢胞の治療 悪性腫瘍：腫瘍切除術、頸部リンパ節郭清術、微小血管吻合手術を伴う再建手術 良性腫瘍及び嚢胞：切除術及び再建術 ・化学療法（抗がん剤、分子標的治療薬、免疫チェックポイント阻害薬）／動注化学放射線治療 ・唾液腺疾患の治療：唾液腺炎、唾石、唾液腺腫瘍 ・口腔領域の炎症の治療：顎骨膿瘍/蜂窩織炎、歯性上顎洞炎、薬剤関連性骨髄壊死 ・口腔顔面外傷の治療：歯の外傷、下顎骨骨折、上顎骨/頬骨骨折 ・インプラント関連外科処置：骨／粘膜移植、インプラント埋入 ・口腔粘膜疾患の治療：白板症、紅板症、扁平苔癬、口内炎、カンジダ症、口腔乾燥症、放射線／化学療法による口内炎 ・顎関節症の治療 ・心因性関連疾患の治療：舌痛症、口腔心身症 ・口唇口蓋裂に関連する治療 ・顎変形症の治療 ・手術期の口腔管理（術前術後の口腔ケア） ・入院中の歯科治療	一例一例を大切に、患者さんとのコミュニケーションを大切にするように努めています。全身疾患のある患者さんの口腔外科処置においては、他科の協力を得て、安全な治療を行っています。口腔外科処置から口腔内科的疾患の治療まで、幅広く対応しています。 ・口腔悪性腫瘍の外科治療、化学療法を充実させています。 ・周術期の口腔管理を充実させています。 ・入院中で歯科診療所に通院できない患者さんの、救急処置や歯科治療を行っています。 ・睡眠時無呼吸症候群における口腔内装置の作製も行っています。 ・障害のある患者さんの口腔外科処置も行っています。



岩井 聡一(歯科口腔外科主任部長)

専門：口腔癌・口腔顎顔面外傷・インプラント関連手術・口腔粘膜疾患
資格：日本口腔外科学会認定口腔外科専門医・指導医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医(歯科口腔外科)
インфекションコントロールドクター(ICD)
歯科医師臨床研修指導歯科医
日本口腔外科学会代議員
大阪大学招聘教員



西村 遵也(歯科口腔外科医師)

専門：歯科口腔外科

網野 かよ子(歯科口腔外科医務顧問
兼感染対策室室長)

専門：口腔腫瘍・粘膜疾患
資格：日本化学療法学会抗菌化学療法指導医
日本口腔外科学会認定口腔外科専門医・指導医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医(歯科口腔外科)
インфекションコントロールドクター(ICD)

臨床病理科



綾田 昌弘(臨床病理科医務顧問
兼産婦人科医務顧問)

資格：日本病理学会病理専門医、指導医
日本臨床細胞学会細胞専門医、指導医

脳神経外科

診療内容の概要	特徴・特色
脳腫瘍、脳血管障害（脳出血、脳梗塞）、その他（正常圧水頭症、慢性硬膜下血腫、三叉神経痛、片側顔面痙攣、頭痛、片頭痛、めまいなど）。 頭部CT検査は診察後、当日に可能。 頭部MRI・MRAは診察の上、予約必要。 院内紹介のみ。入院・手術・血管内治療・放射線治療が必要な場合は他施設を紹介。	MRI、MRAを使った脳ドック診療により、未破裂脳動脈瘤、脳腫瘍、脳梗塞などの早期発見に努めています。 MRI機種は、MAGNETOM Skyra 3T

非常勤医師紹介

細見 晃一

専門：脳神経外科一般
機能的脳神経外科
（難治性疼痛、パーキンソン病などの不随意運動症、痙攣、難治性てんかんの外科的治療）
資格：日本脳神経外科学会専門医
日本脳卒中学会専門医
機能的定位脳手術技術認定医
術中脳脊髄モニタリング認定医

棕本 悠嗣

専門：脳神経外科一般

山本 暁大

専門：脳神経外科一般
脊髄外科
資格：日本脳神経外科学会専門医

耳鼻咽喉科

平成31年4月より耳鼻咽喉科外来は休診させていただきます。

放射線科

診療内容の概要	特徴・特色
放射線診断部門：一般撮影、マンモグラフィー、透視撮影、320列マルチスライスCT、3テスラMRI、血管撮影、骨密度測定。	各領域を網羅した診療業務を行い、血管系のみならず非血管系IVRにも幅広く対応しています。
IVR（放射線診断技術の治療への応用）：肝細胞癌に対する動脈化学塞栓術（TACE）、喀血や吐血に対する血管造影による緊急止血、閉塞性黄疸に対するPTCDや金属ステント留置、膿瘍に対するドレナージなど。	充実した画像診断システムを地域医療に還元するため、MRI、CTなど画像診断のみの紹介も放射線科が窓口となって積極的に受け入れ、画像診断・IVRに関するコンサルテーションも歓迎しています。
放射線治療部門：リニアックによる放射線治療。	



鋸本 美津子 (放射線科部長)

専門：胸部画像診断

資格：日本医学放射線学会放射線診断専門医、指導医、研修指導者



藤田 眞 (放射線科医務顧問)

専門：画像診断・IVR

資格：日本医学放射線学会放射線診断専門医
日本IVR学会専門医

上野 紗規子 (放射線科医師)

専門：画像診断一般

放射線科では、ご紹介により各種検査を承っています。
詳しくは本誌52ページ、53ページをご参照ください。

産婦人科

診療内容の概要	特徴・特色
婦人科内分泌：月経困難症、過多月経、月経不順、更年期不安症	女性ホルモンに関する治療と子宮頸癌、子宮内膜癌の癌検査を中心に診療しています。不安症、不眠症、月経前のいらいら、月経痛、不正出血などご相談ください。女性ホルモンの測定や骨密度の測定も行っています。



綾田 昌弘 (臨床病理科医務顧問
兼産婦人科医務顧問)

資格：日本病理学会病理専門医、指導医
日本臨床細胞診学会細胞専門医、指導医

呼吸器センター

診療内容の概要		特徴・特色
肺	腫瘍性疾患：肺がん、良性肺腫瘍。 感染性疾患：肺炎、気管支炎、肺真菌症、肺化膿症。 閉塞性疾患：慢性閉塞性肺疾患(COPD)、気管支喘息。 間質性疾患：間質性肺炎。 嚢胞性疾患：気胸。 その他：慢性呼吸不全、サルコイドーシス、塵肺症、肺胞蛋白症、慢性咳嗽。	・診療科の枠組みを超えて、より効率的な診断、治療を行っています。医師、看護師のみならず薬剤師、臨床検査技師、理学療法士を含めたチーム体制が特徴です。 ・肺癌の診断には気管支鏡検査の他、エコーガイド下経皮肺生検、胸腔鏡下肺生検にて、より早期に確実な診断を心がけています。 ・内科、外科、放射線科のそれぞれの呼吸器専門医が集まり個々の症例について検討し、最新かつ最良の治療を提供できるよう努力しています。 ・治療と並行して症状の緩和も必要不可欠であると考えており、緩和ケアチームと連携して積極的なケアを行っています。 ・COPDなどの慢性呼吸不全に対しては呼吸リハビリ、在宅酸素、NPPVと包括的治療を行っています。 ・睡眠時無呼吸症候群に対しては、1泊2日のポリソムノグラフィーによる精密検査を行っています。
縦隔	縦隔腫瘍(胸腺腫、奇形腫、悪性リンパ腫)、縦隔気腫。	
胸膜	悪性胸膜中皮腫、胸膜炎(癌性、細菌性、結核性)。	
睡眠障害	睡眠時無呼吸症候群。	



池田 聡之

院長



鏑本 美津子

放射線科部長

二木 俊江

内科部長

兼呼吸器内科部長

木島 涼

内科医師

辻 哲顕

内科医師



桧垣 直純

外科主任部長

兼呼吸器外科主任部長

兼呼吸器センター長



日下部 祥人

内科部長

兼呼吸器内科部長



軸屋 龍太郎

内科部長

兼呼吸器内科部長



植山 篤

外科医師

心臓血管センター

当院の循環器内科では、循環器疾患全域において診療を行っています。高度で安全な医療を提供できるよう、専門性の高い複数のチームを結成し、多職種のスタッフと密に連携・協力しながら「心臓血管センター」としての診療に取り組んでいます。

また、従来よりも精度の高い心臓・血管カテーテル治療を受けていただけるよう、平成28年10月末に、新しいアンギオ室をオープンいたしました。高精細のX線画像を誇る、最新鋭の循環器内科専用アンギオグラフィー装置を備えていることに加え、カテーテル治療の領域で名高い南都事業管理者の監督の下、他職種で結成された「心臓血管センター」のスタッフが日々、知識・技術の修練に努めておりますので、患者さんにはより安心して受診いただける体制となっております。

■循環器内科チーム

主に心臓や血管の疾患の治療を行います。循環器系の全領域を担当しており、各種検査、薬物療法から冠動脈造影検査、PCI治療、EVT治療、ペースメーカー植え込み術まで幅広く手掛けています。

- 主な対応疾患**
- ・【心臓】心不全、虚血性心疾患、心筋症、弁膜症、不整脈
 - ・【血管】閉塞性動脈硬化症、重症下肢虚血、大動脈・末梢動脈疾患
 - ・【全身】難治性高血圧

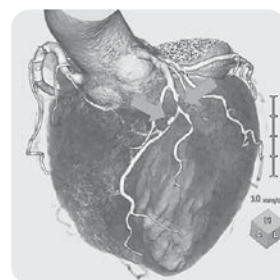
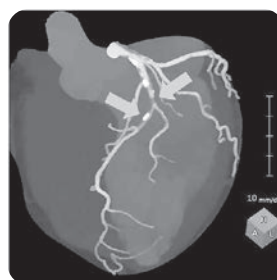
■生理機能検査チーム

循環器疾患の診断と病態の評価に不可欠となる、多種多様な検査を実施しています。これらの検査は低侵襲で、患者さんに繰り返し安全に受けていただくことができるため、心臓や血管の病態評価に積極的に活用し、個々の治療方針の決定や治療効果の判定に役立てています。

- 主な検査**
- 安静時12誘導心電図・ホルター心電図・負荷心電図(マスター階段昇降、エルゴメータ)・超音波検査(経胸壁心エコー・経食道心エコー・各種血管エコーなど)・血圧脈波検査(ABI)・皮膚灌流圧検査(SPP)

■画像診断検査チーム

最新型320列MDCTを用いた検査により、入院なしに10分程度の撮像で冠動脈評価を行うことができるようになりました。Volume rendering法(VR法)、Curved MPR法、lumen view法、Slab MIP法などを用いて、狭窄のみならずplaqueの質についても詳細に評価しています。また、心筋血流シンチにて虚血の検査も行っています。大動脈、末梢血管についても、CT、MRIを用いて3D画像を構築し、より精確な診断に資するよう役立てています。



■心臓リハビリセンター

心筋梗塞や心不全で低下した心臓及び全身の機能を改善し、再発・再入院を予防したり、生活の質(QOL)を向上できるよう、心臓リハビリテーションに取り組んでいます。個々の患者さんに対し、多職種からなるチーム(医師、看護師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、臨床検査技師、管理栄養士、ソーシャルワーカー等)が協調・連携することで、より効果の高いリハビリ(医学的評価、運動負荷試験等の運動療法、生活指導、患者教育等)を実施しています。

■フットケアチーム

下肢血流障害によって、安静時の疼痛や、壊疽、感染が認められた患者さんに対し、専門的なケアを行っています。皮膚科医師による創部の処置をはじめとして、皮膚組織還流圧(SPP)検査導入による皮膚科及び糖尿病・内分泌内科の連携のほか、糖尿病を合併する場合には、糖尿病重症化予防研修(フットケア研修)を受けた看護師との密接な連携の下でケアを行います。



内科
外科
科
整形外科
小児科
皮膚科
泌尿器科
眼科
麻酔科
産科
小児科
口腔科
臨床病理科
脳神経外科
耳鼻咽喉科
放射線科
産婦人科
呼吸器センター
心臓血管センター
消化器センター
内視鏡センター
糖尿病センター
超音波センター
ロボット手術センター
薬剤部
臨床検査科
外来化学療法室
看護部
緩和ケアチーム
褥瘡対策委員会
NSST
栄養管理科
感染対策室
医療安全対策室
臨床工学科
患者総合連携部
のご案内

消化器センター

診療内容の概要	特徴・特色
消化器（上部・下部消化管及び肝胆膵）疾患全般。	消化器疾患には上部消化管、下部消化管、肝胆膵の良性疾患、悪性疾患があるため非常に多岐にわたります。時にこの病態はどの科のどの医師に診察してもらうべきか判断に迷う事があります。そこで当院では消化器センターを開設しております。従来のような特定の医師宛のご紹介でなくても、消化器センター宛にご紹介いただけましたら然るべき専門医が担当いたします。消化器センターでは消化器内科医、消化器外科医の他、放射線科、看護師、管理栄養士の各スタッフがほぼ毎週集まり、困難症例検討会やカンサーボードを開いています。ここでは高度な内視鏡技術、腹腔鏡手術、高精度な画像診断を用いた適切な治療方針を検討しています。



大西 直

副院長
兼外科主任部長
兼消化器外科主任部長
兼産婦人科主任部長
兼眼科主任部長
兼消化器センター長
兼外来化学療法室室長
兼中央手術室室長
兼救急室室長



小川 弘之

副院長
兼内科主任部長
兼消化器内科主任部長
兼皮膚科主任部長
兼臨床病理科主任部長
兼内視鏡センター長
兼健康管理センター長
兼患者総合支援センター長



大畑 裕之

内科主任部長
兼消化器内科主任部長
兼超音波センター長



桧垣 直純

外科主任部長
兼呼吸器外科主任部長
兼呼吸器センター長



上島 成幸

院長補佐
兼外科主任部長
兼消化器外科主任部長
兼医療技術部長
兼医療安全対策室室長



藤江 裕二郎

外科部長
兼消化器外科部長



堀野 次郎

内科部長
兼消化器内科部長



足立 真一

外科部長
兼消化器外科部長

林 典子

内科部長
兼消化器内科部長

濱野 美奈

内科部長
兼消化器内科部長

藤永 哲治

内科部長
兼消化器内科部長

村上 文香

内科医長

古谷 亜利沙

内科医師

内視鏡センター

診療内容の概要	特徴・特色
消化器（上部・下部消化管及び肝胆膵）疾患全般。	上部・下部消化器疾患の診断と治療、内視鏡的治療（ポリペクトミー、粘膜切除〈EMR〉、粘膜下層剥離〈ESD〉、止血術、食道静脈瘤治療、胃ろう造設〈PEG〉、総胆管結石砕石〈EST〉など）。



小川 弘之

副院長
兼内科主任部長
兼消化器内科主任部長
兼皮膚科主任部長
兼臨床病理科主任部長
兼内視鏡センター長
兼健康管理センター長
兼患者総合支援センター長



大西 直

副院長
兼外科主任部長
兼消化器外科主任部長
兼産婦人科主任部長
兼眼科主任部長
兼消化器センター長
兼外来化学療法室室長
兼中央手術室室長
兼救急室室長



大畑 裕之

内科主任部長
兼消化器内科主任部長
兼超音波センター長



桧垣 直純

外科主任部長
兼呼吸器外科主任部長
兼呼吸器センター長



上島 成幸

院長補佐
兼外科主任部長
兼消化器外科主任部長
兼医療技術部長
兼医療安全対策室室長



藤江 裕二郎

外科部長
兼消化器外科部長



堀野 次郎

内科部長
兼消化器内科部長



足立 真一

外科部長
兼消化器外科部長

林 典子

内科部長
兼消化器内科部長

濱野 美奈

内科部長
兼消化器内科部長

藤永 哲治

内科部長
兼消化器内科部長

村上 文香

内科医長

古谷 亜利沙

内科医師

非常勤医師紹介

青山 伸郎（医務顧問）

青山内科クリニック：胃大腸内視鏡/IBDセンター
資格：日本消化器内視鏡学会専門医、指導医
日本消化器学会専門医、指導医
元神戸大学医学部附属病院准教授
光学医療診療部（内視鏡部）部長

中川 須美子

専門：消化器
資格：日本外科学会認定医
日本消化器内視鏡学会専門医

内視鏡センターでは、ご紹介により各種検査を承っています。詳しくは本誌54ページをご参照ください。

糖尿病センター

合屋 佳世子
糖尿病センター長

最近の薬物療法では、新規製剤が次々と登場し選択肢が大きく拡がりました。多様な薬物治療が可能となりましたが、単にコントロール指標の目標達成を目指して治療を強化していると、患者さんが薬物介入による様々なリスクを負う可能性がでてきます。患者さんの病歴や合併症などの病状・病態の把握だけでなく、心理的・社会的・経済的な患者背景についても理解するアプローチが、個々の治療方針を決める上で必要であると感じています。

平成21年3月にオープンした当センターでは指導ケア部門として、フットケア、栄養指導、看護指導外来、糖尿病透析予防外来を開設しています。できるだけ診察に合わせて、患者指導・ケアを実施できる体制を整えました。それぞれの専用室では、ケアや指導を通して療養相談を行うことで、安心できる糖尿病治療を患者さんに提供できるよう心がけています。

糖尿病診療部門では、現在担当医4名体制で、下記担当表の通り毎日行っています。また糖尿病チーム(糖尿病看護認定看護師、日本糖尿病療養指導士、管理栄養士、薬剤師、理学療法士、看護師、眼科、皮膚科、小児科、患者総合支援センターのメンバーで構成)を中心に、糖尿病教室やインスリン外来を担当し、関連職種スタッフが連携して診療を行っています。

先生方の糖尿病診療にお役に立てるよう、チーム一丸となって取り組む所存です。さらに活用していただけるようなセンターを目指していますので、今後ともご協力ご指導よろしくお願いいたします。

- ◎日本糖尿病学会専門医 3名
- ◎糖尿病看護認定看護師 1名
- ◎日本糖尿病療養指導士 10名：看護師6名、薬剤師2名、管理栄養士1名、リハビリ1名
- ◎糖尿病療養指導士兵庫認定 2名：臨床検査1名、薬剤師1名

■糖尿病センター担当予定表

	月	火	水	木	金
午前診療	—	合屋	田淵	合屋 貫野	田淵
午後診療	貫野	—	合屋 青木 (第2・4週)		
ケア外来 (午後)	栄養 相談	療養 指導	フットケア・ 透析予防・ 栄養相談	フットケア・ 療養指導	栄養相談



超音波センター

大畑 裕之

超音波センター長

超音波検査は、非侵襲的に病変を検出することができるため、患者さんにも安心して受けていただける検査です。多くの臓器の生体情報が得られるため、診断・治療に欠くことのできない検査法です。

当院の超音波検査のセンター化は2015年で、場所は病院2階の臨床検査科エリアにあります。腹部・心臓・乳腺・血管(頸動脈、下肢血管など)・表在・甲状腺が主な検査対象です。この数年は消化管やより細分化した脈管検査(腎動脈、下肢動脈など)に取り組んでおり、増加してゆく検査ニーズに的確に対応しております。病変の存在診断のみならず、深達度や脈管侵襲の有無など質的診断の精度を高めて参ります。今後も患者さんにより効率的で質の高い医療を提供できるよう努力して参ります。



■検査実施件数：2023年度(R5)

新型コロナパンデミックの影響で2020年の総検査件数は1割以上減少しましたが、翌2021年にはほぼ回復。その後も漸増し、2023年度(R5)の総検査数は7,602件でした。内訳は件数の多い順に、腹部超音波2,872件、心臓2,040件、乳腺873件、頸動脈654件、下肢血管485件、表在468件、甲状腺187、その他(経食道、腎動脈、造影腹部等)23件でした。

■検査体制

超音波センターでは臨床検査技師と、各領域(腹部、心臓、血管、乳腺、甲状腺、皮膚など)の医師が協力して、多種多様なニーズに応えられる様に精進しております。また、2019年下期より外部の医療機関からの予約システムの運用を開始し、以前よりスムーズに予約が出来るようになりました。

超音波技術向上のためスタッフは各種Webセミナー・学会へ積極的に参加しております。超音波検査士(消化器、循環器、体表、血管)や血管診療技師資格取得にも取り組んでおり、資格保有者は年々増加しています。患者さんにより安心して検査を受けていただけるよう、体制を整えています。

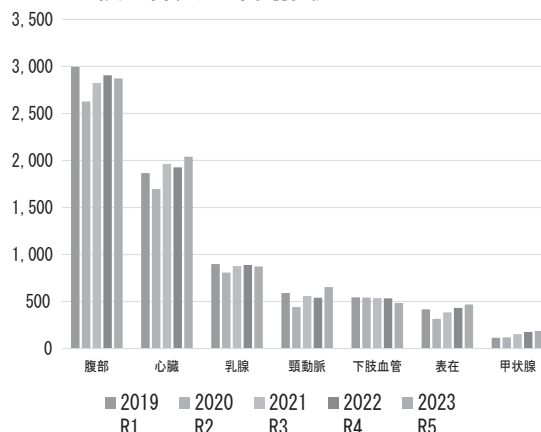
在籍超音波検査士 消化器領域 2名、循環器領域 3名、体表領域 4名、泌尿器領域 1名
血管領域 2名 血管診療技師(CVT) 2名
日本周術期経食道心エコー認定(JB-POT) 1名
乳がん検診超音波検査実施技師 1名

超音波検査件数

検査部位	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5
腹部	2,995	2,627	2,824	2,906	2,872
心臓	1,866	1,697	1,963	1,927	2,040
乳腺	898	808	877	888	873
頸動脈	591	441	559	540	654
下肢血管	544	542	536	533	485
表在	417	316	385	432	468
甲状腺	114	119	153	177	187
その他	20	21	19	12	23
合計	7,445	6,571	7,316	7,415	7,602

その他:腎動脈、関節リウマチエコー、経食道、造影腹部エコー、負荷心エコー

エコー検査件数 5年間推移



リハビリテーション科 (リハビリテーションセンター)



田邊 勝久
整形外科主任部長
兼リハビリテーション科主任部長
兼リハビリテーションセンター長



中島 恭哉
整形外科部長
兼リハビリテーション科部長
兼リハビリテーションセンター部長

金子 恵子
整形外科医長

当院は、一般病床主体の急性期病院であるため、当科も急性期リハビリテーションを中心に、運動器(I)・呼吸器(I)・心大血管(I)・脳血管疾患(II)・廃用症候群(II)・がんリハビリテーション・摂食機能療法の施設基準を受け、理学療法士7名・作業療法士4名・言語聴覚士1名・介護員2名のスタッフにて、各診療科からの依頼により早期の機能回復、退院に向けて治療・支援に努めています。

当科の特徴として骨折、人工骨頭置換術といった整形外科領域のリハビリテーションに加え、手の外科術後のハンドセラピィも行っています。また周術期を含めたがんのリハビリテーションや呼吸器疾患、循環器疾患、内分泌疾患のリハビリテーション、HCUでの早期離床を目指したリハビリテーションを行っています。

また、チーム医療の観点から糖尿病チーム、心不全チーム、褥瘡対策チーム、ICTチーム、NSTチーム、呼吸サポートチーム、緩和ケアチーム、周術期管理チーム、骨粗鬆症チーム、認知症ケアチーム、排尿ケアチーム、がんボードなどにも積極的に取り組んでいます。

■理学療法(physical therapy)

筋力・関節可動域・協調性など身体の運動機能障害に対して、物理療法(電気・牽引・温熱)や運動療法などを用いて、痛みの軽減や寝返る・立つ・歩くなど日常生活における基本的動作能力の回復を図ります。その他、呼吸・循環理学療法や糖尿病教室での運動指導などを行っています。

■作業療法(occupational therapy)

病気や怪我などで日常生活動作能力(食事・排泄・更衣・整容・家事・書字)が障害された方に対して、身体機能・高次脳機能・精神心理・職業社会面を通じて、最大限活用できるように関わっていきます。また、自助具・装具の作成・指導や福祉用具・家屋改修の情報提供などを行います。

■言語聴覚療法(speech, language and hearing therapy)

ことばによるコミュニケーションや嚥下(食事の際の飲み込み)にお困りの方の、評価・訓練・助言を行い、ご本人とご家族を支援します。

■その他

義肢・装具の作成、適合、修理などは医師の指示により週1回義肢装具士が対応し、理学療法士・作業療法士も協力しています。

退院後の支援として、介護支援専門員・福祉住環境コーディネーターなどの資格を併せ持つスタッフが要望に応じて助言し、また転院・退院に際しては看護部や患者総合支援センターとも協力し情報提供・退院指導を行っています。

ロボット手術センター

診療内容の概要	特徴・特色
泌尿器・消化器疾患に対する ロボット手術 ・前立腺がん：前立腺全摘術 ・腎がん：腎部分切除術 ・腎盂尿管移行部狭窄症： 腎盂形成術 ・結腸がん： 結腸悪性腫瘍切除術	当院では、手術支援ロボット「ダヴィンチ」を用いた腹腔鏡手術を行っています。「ダヴィンチ」は、肉眼よりも細かくて大きな視野で、立体的に距離感を掴める視野を得ることができます。そして、人間の手よりも自由度の高い鉗子を用いて、患者さんの体内の奥深く・狭い場所でも、細やかな手術が可能となっています。 令和6年1月に開設された当センターでは、手術適応がある泌尿器科・消化器外科に加えて、麻酔科・手術室看護師・臨床工学技士等が、横断的にロボット手術の課題や技術、国内外の有用な知見を共有し、緊密な連携を図ることによって、患者さんにより安全で質の高い手術を提供することを目指しています。



上田 康生

泌尿器科部長
兼ロボット手術センター長



瀧内 秀和

泌尿器科医務顧問

田中 亘

泌尿器科医師

元木 宣孝

泌尿器科医師



大西 直

副院長
兼外科主任部長
兼消化器外科主任部長
兼産婦人科主任部長
兼眼科主任部長
兼消化器センター長
兼外来化学療法室室長
兼中央手術室室長
兼救急室室長



藤江 裕二郎

外科部長
兼消化器外科部長



前田 倫

副院長
兼ペインクリニック内科・外科主任部長
兼麻酔科主任部長
兼疼痛・緩和センター長



平井 康富

麻酔科部長
兼ペインクリニック内科・外科部長

薬 剤 部



正木 知宏
薬剤部長

薬剤部では、薬剤師外来、病棟常駐、持参薬確認、薬剤管理指導、抗がん剤のレジメン管理と調製、TPN調製、TDM解析・抗菌薬関連、医薬品管理、医薬品情報提供などの各業務の充実を図り、ICT・AST・NST・緩和ケアなどのチームにて活動し、医薬品の適正使用と医療安全に取り組んでいます。また、治験業務、薬学生の長期実務実習の指導に係わり、社会的責務も果たすよう努めています。

■薬剤師外来・持参薬管理などについて

手術予定や侵襲的検査予定などの患者さんに対して、入院前に外来にて服用薬やサプリメント類について確認を行い、医師と連携して手術や検査をより安全に受けただけのように取り組んでいます。さらに、抗がん剤などに関する説明・指導を外来患者さんに行っています。また、入院される患者さんは、様々な薬を持参してこられます。この持参薬に対して医療安全面等から薬剤部にて、名称・効能効果・用法用量・持参数量などを調べ、患者面談を実施し、服用状況なども含めた薬剤情報を医師に提供すると共に、ご入院中の持参薬管理を行っています。

■薬剤管理指導(服薬指導等)・病棟常駐について

入院患者さんへの薬剤管理指導は、薬剤部の重要な業務の一つです。薬のことを患者さんによく知っていたくことで治療への意欲が向上し、合わせて副作用を未然に防ぐことができます。また薬剤師が患者さんの話を聞くことによって薬の効果を直接評価するとともに、副作用症状の発現を確認することができ、医師や看護師をサポートすることにもなります。さらに、全病棟で薬剤師が平日昼間常駐し、医療スタッフと協働しながら、薬剤関連業務にあたっています。

■抗がん剤・高カロリー輸液混合調製について

がん化学療法は複数の抗がん剤を組合せて行われることが多く、その組合せや投与量、投与間隔などを間違えると大変危険です。このため当院では抗がん剤投与法を標準化し、医師、薬剤師、看護師が個々の患者さんの投与計画を共有し、相互に確認を行う方法が実施されています。薬剤部では部内に安全キャビネットを設置し、全ての抗がん剤の処方について、投与計画を確認しながら混合調製を行い、一部の抗がん剤では閉鎖式器具を使用することでより安全性を高めています。また、高カロリー輸液についても安全性向上を目的として、部内にて混合調製を実施しています。

■院外処方せんについて

原則として全ての外来患者さんに院外処方せんを発行しています。薬剤部は調剤薬局からの疑義照会の窓口としての役割や、当院の新規採用薬や削除薬のリストを当院ホームページに掲載するなど、院外処方せんが円滑に発行されるように支援しています。



抗がん剤混合調製



薬剤師外来

野嶋 祐兵
臨床検査科部長

臨床検査科は生理検査部門と検体検査部門から構成され、臨床検査技師16名が迅速かつ正確な結果を報告しています。生理検査部門では超音波検査を地域診療所から直接ネット予約できる環境が整備され、検査の予約がスムーズに行えるようになりました。また、検体検査部門では新型コロナウイルスの検査をPCR検査にて約30分で結果を報告しています。

変遷し続ける感染状況に合わせて、新型コロナウイルス対策委員会やICTと協力し、院内の適切な病床管理や院内感染の拡大防止に貢献しています。

患者さんに、より早い検査結果の報告を目指し、院外からの応援職員と共に24時間365日体制で診療をサポートしています。

■業務内容

検体検査、細菌検査、生理検査の3部門に分けられます。

■検体検査

- ・ **生化学検査**(肝機能、腎機能、脾機能、脂質、電解質、内分泌、PCT、CK-MBmass、トロポニンT定量、微量尿中アルブミン等)
- ・ **免疫・感染症検査**(HBsAg、HBsAb、RPR、TP抗体、HCV、HIV、AFP、CEA、CA125、CA19-9、TSH、FT3、FT4、PSA、CA153、ProGRP、シフラ、BNP、KL-6、コルチゾール、PIVKA-2)
- ・ **血液検査**(検血、凝固系、血沈)
- ・ **輸血関連検査**(血液型、クロスマッチ、抗体スクリーニング)
- ・ **一般検査**(検尿、便、髄液、関節液、胸水、腹水、穿刺液)
- ・ **迅速検査**(インフルエンザ、 β 溶連菌(A群)、便ロタ・アデノウイルス、ノロウイルス、咽頭マイコプラズマ、RSウイルス、咽頭・角結膜アデノウイルス、ヒトメタニューモウイルス)

■細菌検査

一般細菌、結核菌、真菌（塗抹、培養、感受性）CDトキシン、COVID-19、病原大腸菌O-157等

■生理検査

心電図、負荷心電図（エルゴメーター、マスター2階段試験）、ホルター心電図、血圧脈波、聴力検査、脳波、肺機能、呼気一酸化窒素分析、PSG（睡眠時無呼吸症候群検査）、超音波検査（腹部、心臓、乳腺、頸部血管、下肢血管、腎動脈、表在、経食道心臓、関節）、皮膚灌流圧SPP

■その他

16名の技師中、下記の認定資格所持者がいます。

超音波検査士4名(日本超音波医学会)

緊急臨床検査士 3 名(日本臨床検査同学院)

二級臨床検査士3名(循環生理学)(免疫・血清学)(血液学)(微生物学)

一般検査技師 1 名(日本臨床衛生検査技師会)

心電検査技師 1 名(日本臨床衛生検査技師会)

心電図専門士 1 名(日本不整脈心電学会)

血管診療技師(CVT) 2 名

乳がん検診超音波検査実施技師 1 名

日本周術期経食道心工コ一認定技師(JB-POT) 1 名

全国規模の外部精度管理に積極的に参加し、検査精度の維持・向上に努め、高い評価を得ています。

輸血療法委員会の主催やICT・ASTでのデータ提供、糖尿病チームでの支援を行うなどチーム医療に貢献しています。

看護部

2025年を見据え、看護部では地域と繋がる組織づくりを行っていきたくと考えています。

看護部スタッフ一同、地域の皆様に信頼される看護が提供できるように努めてまいります。

看護部長 大内智恵

看護部の理念

私たちは良質で信頼される看護を目指します

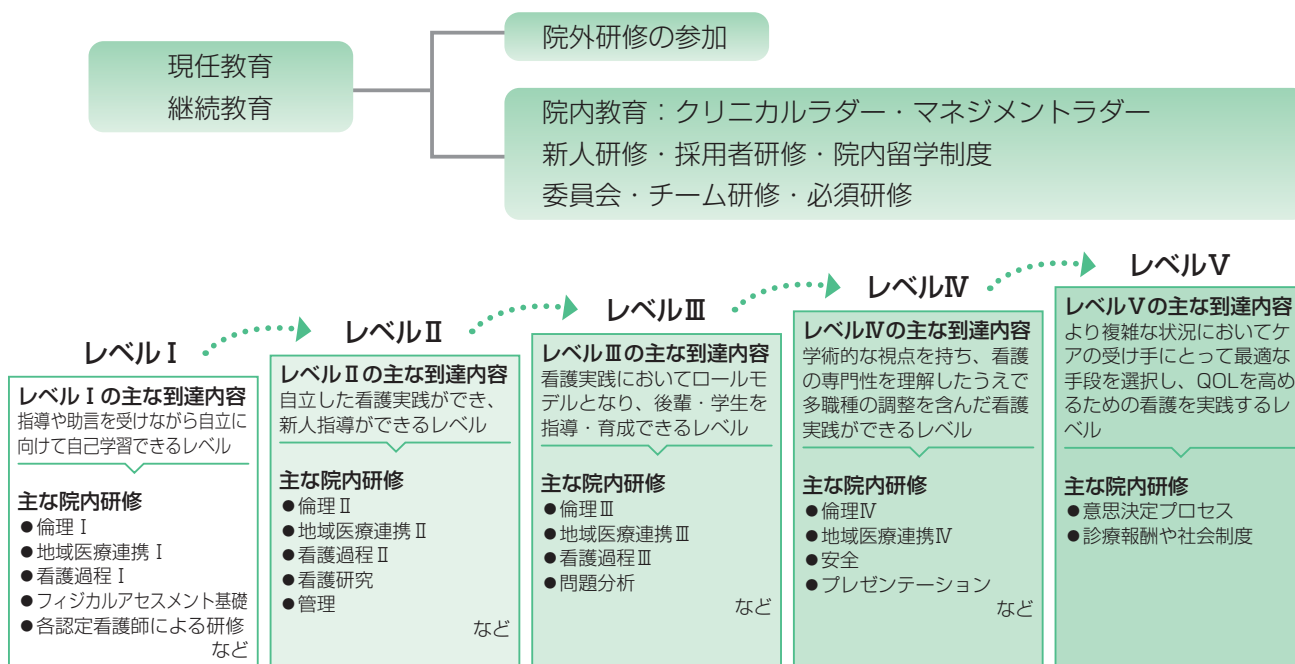
- 1 心温かな看護
- 2 患者さま中心の看護
- 3 安全な看護
- 4 地域に開かれた看護

《教育》

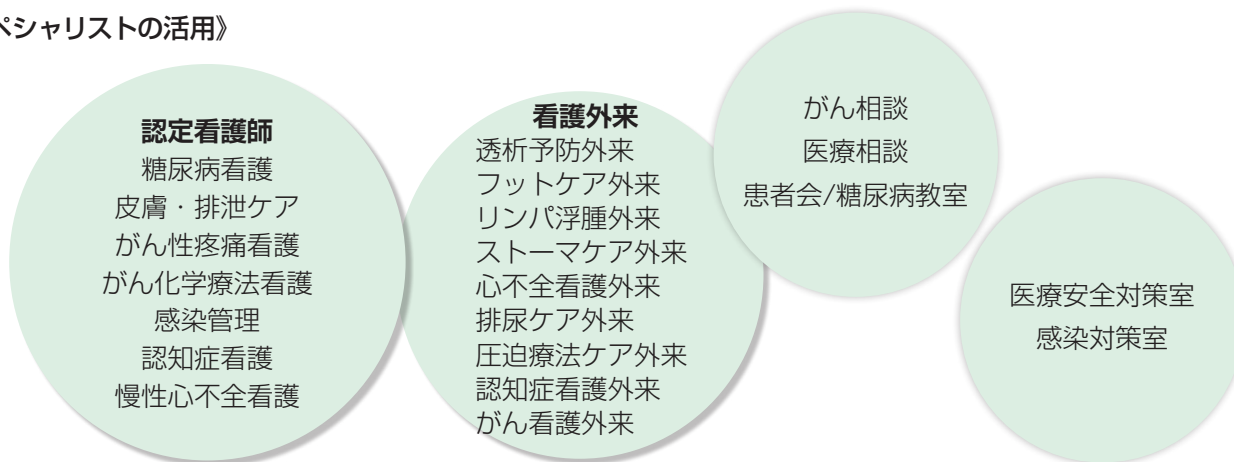
理念：専門職として能力開発ができるように生涯教育を支援することで、質の高い看護サービスを提供し、地域社会に貢献できる人材育成を目指しています。

基本方針

- 1、すべての人の尊厳と人権を尊重できる倫理性を養い、豊かな人間性と社会性を備えた看護職を育成します。
- 2、変化する社会と看護職の学習ニーズに対応した能力開発プログラムを提供し看護実践能力の向上を図ります。



《スペシャリストの活用》



緩和ケアチーム



前田 倫

麻酔科主任部長
兼ペインクリニック内科・外科主任部長
兼疼痛・緩和センター長

当院の緩和ケアチームは、発足以来19年で355名の末期癌患者さんのケアを行ってきました。院内各科に加えて、他院からの紹介もあります。

現メンバーは、麻酔科医4名、外科医1名、精神科医（非常勤）1名、看護師10名、医療ソーシャルワーカー1名、薬剤師1名、理学療法士2名、管理栄養士1名からなります。ケアの主軸となる疼痛治療はオピオイドを中心とし、当院の特色であるペインクリニック科の神経ブロック、放射線科のリニアックも併用可能であり、有効な疼痛緩和法を行っています。チームとして毎週木曜日にカンファレンスと回診を行い、検討・決定した治療法の効果を連日1名のメンバーが交代で訪床して確認し、フィードバックするシステムを採っています。

緩和病室2個室が設置されています。また日本緩和医療学会の専門医1名を擁し、緩和医療の研修認定施設となっています。当院も西宮市の地域緩和医療に大きく寄与できる施設になるように努めています。



緩和病床



チームカンファレンス

褥瘡対策委員会

当委員会では褥瘡に関するケアの質の向上及び、重症化の予防に努め院内発生ゼロと早期治癒を目標に以下の活動を行っています。

■褥瘡発生予防対策

- 1) 褥瘡の早期発見
- 2) 適切なポジショニング
- 3) NSTと連携した栄養管理
- 4) 体圧分散マットレスの選択
- 5) スキンケア

■褥瘡保有者の早期治療

- 1) 薬剤（軟膏類）とドレッシング材の選択
- 2) 外科的デブリードマン、NPWT（局所陰圧閉鎖療法）による治療
- 3) 脂肪製剤などを考慮した点滴の投与
- 4) 創傷治癒過程に則した補助栄養剤の選択

構成メンバーは皮膚科医師、循環器内科医師、皮膚・排泄ケア認定看護師、病棟褥瘡専任看護師（リンクナース）、管理栄養士、薬剤師、理学療法士、事務員です。多職種で連携を行い、週1回のカンファレンスで各々の専門的立場から包括的に治療方針を決定しています。また月1回の褥瘡対策チーム会では具体的な活動の実施と対策、3か月に1回の褥瘡対策委員会ではチーム会活動の評価と院内基準（マニュアル）の見直しを行い、院内職員のスキルアップを図る目的で勉強会の開催を行っています。

特に褥瘡発生ハイリスク患者に関しては医師、看護師、コメディカルが定期的に病棟ラウンドを行い、個別に応じたケアを病棟スタッフへ指導しています。

NST（栄養サポートチーム）



大畑 裕之
内科主任部長
兼消化器内科主任部長

■NSTとは

NST（Nutrition Support Team：栄養サポートチーム）とは、栄養について総合的に管理するシステムで、医師のみならず看護師、管理栄養士、薬剤師、検査技師、リハビリテーションスタッフらがそれぞれの専門的な知識、技術を活かしながらチームとして活動しています。当院では、平成18年4月にNSTを立ち上げました。

■なぜ栄養管理が必要なのでしょう

栄養不良は、治療や病気の予後に重大な影響を与えることが以前より指摘されています。すべての病気において、栄養管理をおろそかにすると治療の効果が減じたり、合併症や副作用が多くなったりしてしまいます。例えば、栄養状態が悪いと床ずれ（褥瘡）ができたり、食べ物や飲み物がうまく飲み込めないことにより肺炎（誤嚥性肺炎）を起こしたりします。NSTは入院された方の栄養をあらゆる方面から検討するだけでなく、手術を予定している方に対して通院中から栄養状態を改善し、早期に退院できるようサポートしていきます。

■NST活動の実際

入院された方には、入院時に食事の状態や日常生活の活動性などについて看護師が伺い、体重の変化や血液検査データなどから現在の栄養状態を把握します。医師は入院時の診察で、栄養状態の評価や褥瘡の危険度の判断を行います。また、検査技師は、栄養管理の指標となる検査データをチェックし、薬剤師・管理栄養士は必要栄養量、現状の摂取栄養量を計算して栄養評価を行います。これらにより栄養管理が必要な方を見逃さないようにしています。当院のNSTでは毎週木曜日の午後1時半よりミーティングを行っています。体重や身体計測値の推移、摂食状態、その他の全身状態を見ながら、必要なカロリーや栄養素が十分にとれているかを判断し、食事内容、経腸栄養の内容、点滴の内容などを主治医とともに考えていきます。平成27年5月からは通院中の方にも栄養外来で栄養状態の評価を行っています。

高齢化により誤嚥性肺炎は年々増加しています。入院中は定期的な嚥下機能評価（問診）を行っています。誤嚥リスクを継続的に認識し、肺炎の増悪要因の減少に努めています。

病院には、NST以外に緩和チーム、褥瘡チームなどがありチーム間で連携しています。栄養状態の改善はさまざまな病気の予防・治療の基本であり、当院では、今後より一層、横断的なNST活動を行っています。



栄養管理科

当院の栄養管理科は、入院・外来にかかわらず、すべての患者さんの栄養管理と栄養指導を受け持っています。

■栄養管理

当院の栄養基準表をもとに、入院患者さん一人ひとりに沿った食事を提供し、1日も早い病状改善と体力回復を図ります。すべての入院患者さんに、検査結果等をもとに栄養管理計画を立案し、患者さんの嗜好を考慮した栄養管理を行います。また、退院後自己管理ができるよう、栄養サポートも行っています。

管理栄養士は、NST（Nutrition Support Team：栄養サポートチーム）、褥瘡対策、緩和ケア、糖尿病や周術期管理、骨粗鬆症、認知症ケア、心不全のチーム医療に関わり、他職種連携で活動しています。毎週のNST回診や褥瘡回診では栄養評価を行い必要な栄養管理を実施することで、治療効果向上に努めています。

（栄養サポートチーム専門療法士：2名）

■栄養指導

①個別栄養指導

入院・外来患者の栄養指導は、その患者さんに合わせた栄養管理カルテを作成し、日常生活での問題点をピックアップしながら食事療養計画をすすめていきます。

当院に入院・通院されている方以外でも、地域医療機関の先生方の指示のもと、個々の患者さんの生活習慣を把握したうえで食生活のアドバイスをを行います。詳しくは患者総合支援センターへ電話でお問い合わせください。

◇実施曜日

- ・月～金曜日（ただし、水曜日の午前は除く）
- ・指導時間 30分程度

対象疾患

糖尿病、肥満症、高血圧、脂質異常症（高脂血症）、高尿酸血症、脳・心血管疾患、肝臓疾患、腎臓疾患、骨粗鬆症、小児食物アレルギー、メタボリックシンドローム、消化管術後、低栄養、嚥下障害 など

糖尿病

糖尿病チーム治療として食生活だけにとどまらず、さまざまな要素から病状改善のポイントを見つけていきます。栄養指導は一度で完結させず、患者さんの理解度や状態に合わせて継続的にいきますので、初めての方でも安心して受けていただけます。

自炊をしていない方には、外食や市販品の選び方など具体的な食品の組み合わせについて説明し、また1型糖尿病の方にはカーボカウントでの栄養指導を行うなど、患者さんに沿った指導を行っています。

（日本糖尿病療養指導士：1名）

手術前後

消化器疾患の手術予定の方に、手術前の外来から管理栄養士が関わります。体組成測定による骨格筋量評価や摂取状況を確認し、入院までの食事療法についてお話します。

入院中は手術前と退院前に栄養指導を行い、食事の摂り方、食材選択、調理法についてお話をしており、また、ご自宅で利用できる宅食サービスなどの紹介もしています。

外来化学療法

抗がん剤治療において、栄養状態の改善は外来での抗がん剤治療の完遂率を高めると考えられています。当院では、管理栄養士が骨格筋量等の体組成データをもとに患者さんの栄養評価を行い、栄養指導をしています。抗がん剤治療の副作用の口内炎、味覚障害などで食事が摂りにくい方には、栄養バランスを考慮し、症状に合わせた食べやすい調理法の工夫などをお話ししています。



低栄養

入院中だけでなく、退院後の在宅栄養管理もサポートしています。低栄養や嚥下障害に対応した栄養指導を行い、材料の選択や調理法、また栄養補助食品の紹介などを行っています。

②集団栄養指導

糖尿病の教育入院患者さんを対象に、毎週火曜日に行っています。合併症の進展予防や、合併症のひとつである糖尿病腎症の病期分類による食事療法の違いなどについて、お話しています。また人工甘味料や低糖質食品等の治療用食品の情報提供も行っています。

③人間ドック後の栄養相談

人間ドックの検査結果をもとに、個別栄養相談を行っています。検査結果を問わず、疾病予防の栄養相談もお受けしていますので、詳しくは医事課へお問い合わせください。

④糖尿病教室

当院の糖尿病専門医、ならびに医療スタッフによる開放教室で、どなたでも参加できます。(第4水曜日の午後3時～、1日2講演を実施)

管理栄養士は、食事療法の話を担当しており、治療のための食事療法に合わせ、テレビや新聞などさまざまな健康情報の正誤性も解説します。日程などの詳細はホームページの糖尿病教室をご覧ください。

⑤デジカメを使用した栄養相談

デジカメで撮影した日常のお食事を、当院の管理栄養士が食事内容と栄養を分析し、患者さんにふさわしい食生活を丁寧に指導、アドバイスします。(デジカメは当院で貸出します。)



■特定保健指導

特定健診(40歳以上義務化)後の特定保健指導を、管理栄養士が行っています。

(特定保健指導担当者研修修了者4名)

特定健診は、毎週水曜日に予約制で受け付けています。詳しくは医事課へお問い合わせください。

■がん化学療法治療患者さんの選択食「なごみ食」

令和5年6月より、入院中のがん化学療法治療の患者さんの選択食として、なごみ食を新設しました。抗がん剤の副作用による食思不振で食事が食べにくい場合、通常の病院食となごみ食からお好きな食事を選択できるようになりました。

なごみ食は、丼物やお寿司、お好み焼、ラーメン、サンドイッチなど通常の病院食とは別のメニューを日替わりでご用意しています。



■行事食

当院の入院中のお食事は、皆さまに楽しんでいただけるように季節感のある献立を考えています。
また、毎週1回昼食と夕食は、2種類のメニューからお好きなものを選択していただけるようになっています。

- 1月…お正月（三が日、おせち料理）、七草粥
- 2月…節分
- 3月…ひな祭り
- 4月…花見弁当
- 5月…子供の日
- 6月…あじさい日和
- 7月…七夕、土用丑の日
- 8月…夏バテ防止
- 9月…敬老の日、松茸（栗）ご飯
- 10月…お月見、体育の日、ハロウィーン
- 11月…秋祭り（収穫祭）
- 12月…冬至、クリスマス、大晦日（年越しそば）



感染対策室

感染制御チーム（ICT：Infection Control Team）

抗菌薬適正使用チーム（AST：Antimicrobial Stewardship Team）

- 専任医師 網野かよ子（室長 感染制御医師・日本化学療法学会抗菌化学療法指導医）
- 兼任医師 小川 恭生（感染制御医師）
- 専従看護師 小坂知代子（感染管理特定認定看護師）
- 専任検査技師 福澤 京介（日本臨床検査医学会 2級臨床検査士 微生物学）
- 専任薬剤師 藤田 昌紀（日本病院薬剤師会感染制御認定薬剤師）
- 兼任薬剤師 太田 早苗
- 事務職員 西田 明子

感染対策室は医療関連感染の危険を減少させ、感染を制御するための実務を担う部署として平成28年4月に設置されました。医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師で構成されており、ICT業務、AST業務を行い、市民のみなさまに安全で安心な医療を提供できるよう活動しています。

■感染対策室の業務

- 医療関連感染サーベイランス
- 感染防止対策に関する教育
- 職業感染防止対策の計画・実施
- 院内感染対策マニュアルの作成・改訂
- 感染症発生時の調査と制圧に向けた対応
- 院内外の感染制御や感染症対応に関連するコンサルテーション
- 感染制御に向けた地域連携の活動
- 抗菌薬適正使用支援

感染対策室では週1回のICT・ASTミーティングおよび院内ラウンドで、感染に関連する問題点の明確化や抗菌薬適正使用のモニタリング、情報の共有を行い、関連部署にフィードバックを行います。また感染に関する研修を企画、運営しています。

月1回開催する感染防止対策委員会や、ICTリンクスタッフ会（看護師、理学療法士、管理栄養士、放射線技師）、リンクナース会では感染症発生数、病原微生物分離数、抗菌薬使用状況、アルコール手指消毒薬使用量など、感染および感染防止に関連する情報を共有することにより、院内全体での情報共有を実施しています。感染対策上の問題については感染防止対策委員会に対応策の決定を行い、ICTやリンクスタッフ会が中心となり院内全体で取り組んでいます。

医療安全対策室

医療安全対策室室長 上島 成幸
医療安全対策室副室長 依藤 泰子



厚生労働省は医療安全の確保は医療政策における最も重要な課題の一つとしています。患者の安全を最優先に考え、その実現を目指す態度や考え方としての「安全文化」を醸成し、これを医療現場に定着させていくことが求められています。医療に関係する全ての者が各々の役割に応じて医療安全対策に向けて積極的に取り組むことが必要です。

医療安全対策室は病院で勤務する全ての職員への研修会を行っています。必須研修に関しては地域の医療機関の方も参加が可能となっております。医療安全対策地域連携加算を取得していることからⅠ-Ⅰ連携やⅠ-Ⅱ連携を行い、相互監査を実施しています。

医療安全対策室の室員には、医師・医療安全専従者・放射線科・リハビリテーション科・検査病理部門・薬剤部・臨床工学科・事務部門が在籍し、毎週カンファレンスを行い1週間のインシデント報告を含めた情報共有を行っています。

医療安全管理委員会では院内発生のインシデント報告と分析、対策を検討し、病院全体で再発防止に努めています。また下部チームには医療対話推進者チーム、FaST（虐待対応）チームに加え、2023年度下期に発足した報告書管理チーム、2024年度上期に身体拘束最小化チーム（認知症ケアチームとの共同）の追加により、合計4つのチームが事例の検討や研修会の開催などの活動をしています。

これからも、医療安全文化の醸成と地域を含めた医療安全を推進し、安全で安心な病院であるように努力していきます。



事前申込制 地域医療従事者対象合同研修会

21時の病棟管理

2024年 2月 1日(木)
① 13:30~14:30
② 14:45~15:45

3階講義室
群馬県立中央病院 医療安全管理委員会
講師：恵川 淳二 先生

申し込み方法：メールまたはFAXにて前日迄にお申し込み下さい。
メール：メール本文に「研修会申込」(2/2)と、施設名、参加者氏名、職種、研修先、を記載の上FAXまたはメールにて送信して下さい。
FAX：裏面をご利用下さい。

医療安全管理委員会

事前申込制 地域医療従事者対象合同研修会

2024年上期 医療安全研修

当院では、地域の医療支援の一環として、年間を通じて医療従事者を対象とした研修会等を実施しています。外部講師や当院医師・医療スタッフによる講演会や実習を通して専門分野の知識や技術を共有し、地域との連携を推進してまいります。ぜひご参加ください。

患者と共に質の高い医療を提供する ICからSDMへ

- 共同意思決定 (SDM) とは何か
- SDMが患者や治療に与える効果
- SDMを実践するために医療者は何をすべきか

群馬大学 医学部
講演：群馬大学 名誉教授・病院顧問
板橋中央総合病院 副院長
小松 康宏 先生

6月13日(木) 15:00~16:00
西宮市立中央病院 3階講義室

申し込み方法：メールまたはFAXにて前日迄にお申し込み下さい。
メール：メール本文に「研修会」を記し、施設名、参加者氏名、職種、連絡先、をご記入の上、下記アドレスに送信して下さい。
a.nishida@nishi.or.jp 「6月合同研修会申込」
裏面をご利用下さい。

医療安全管理委員会

臨床工学科

臨床工学科技師長 山元 秀紀

臨床工学科係長 山元 祐宏

臨床工学主任技士 村山 賢介



医療の高度化、ニーズの多様化によって、多種多様の医療機器が医療の現場では使用されています。高度化された医療機器により複雑な治療や診断が可能となっていますが、操作や運用、管理など必要とされる知識・技術の専門性も高まっています。便利で優れた機能を持った医療機器も、使用方法や管理体制が十分でなければ、診療に支障をきたすばかりではなく患者に致命的な影響を与えることになります。臨床工

学技士は、高度化・複雑化した医療機器のスペシャリストとして、機器の操作や教育活動を通じて適正に医療機器を使用するための体制作りを支援しています。

■医療機器の保守管理業務

輸液ポンプや生体情報モニタ、超音波エコーなどの医療機器の中央管理を行い、効率的な機器の運用だけではなく保守管理や機種の一統を行うことで安全に使用できる体制を整えています。また、医療機器管理システムを用いて安全に使用するための情報をデータベースに集約し、医療スタッフへマニュアルや改善のための方策などを発信しています。

■臨床支援業務

おもに生命維持管理装置と呼ばれる人工呼吸器や血液浄化装置の操作を病棟やHCUで行っています。また、循環器疾患におけるカテーテル治療での周辺機器や補助循環装置の操作、デバイス管理、ペースメーカー外来等の対応も行っています。その他、腹水濾過濃縮再静注法やラジオ波焼灼術、手術室での手術支援ロボット（da Vinci）や内視鏡手術業務の対応、呼吸サポートチーム（RST）のメンバーとしてチーム医療に取り組んでいます。

■医療機器の安全教育業務

医療安全対策室と連携し、年間計画を立て研修会を開催しています。医療スタッフのニーズとレベルに応じた研修になるように内容の検討や企画、回数・時間帯の調整を行っています。研修の内容には、取り扱い方法だけでなく構造や原理についての勉強や院内のトラブル事例を取り入れ、より身近でわかりやすいものになるように工夫しています。

患者総合支援センター

地域医療連携・総合相談窓口・入退院支援の3部門で構成されています。

地域の医療・介護・福祉関連機関との連携を強化し、受診から転院・退院までの切れ目のない体制を目指し、患者・家族の支援を行っています。



患者総合支援センターの業務内容

地域医療連携

- ・他医療機関からの予約調整（診察・検査・セカンドオピニオン）
- ・他医療機関への逆紹介（診察予約申込み）
- ・緊急受診・転院相談対応
- ・紹介元医療機関への返書発送と管理
- ・かかりつけ医の紹介

総合相談窓口

- ・がん患者就労相談
- ・看護外来（がん看護、ストーマ、リンパ浮腫、透析予防、療養指導、フットケア、心不全看護、認知症看護、術前看護、排尿ケア、圧迫療法ケア）
- ・入院病床管理
- ・医療・看護・介護福祉関連の相談

入退院支援・在宅療養支援

- ・入院に伴う準備等の説明
- ・入院・手術や検査説明
- ・入院予定患者の基本情報の把握とアセスメント
- ・入院患者の退院・転院についての相談や調整
- ・外来通院患者の在宅療養についての相談
- ・看護師による退院前・退院後訪問
- ・病床管理（予約・転入・当日緊急入院）

地域医療連携

患者総合支援センターでは、ご紹介患者の診療予約を承っています。手続きは、当院の診療情報提供書をご記入の上、患者総合支援センター宛てにFAX（0798-67-4896）をお送りください。患者の予約希望日があればご記入ください。できるだけご希望に沿えるようにいたします。折り返しFAXで予約票を返送いたしますので、患者にお渡しください。

●予約受付時間

FAX：月～金曜日 8時30分～19時（受信は24時間可）

土曜日 8時30分～12時

電話：月～金曜日 8時30分～17時

予約受付時間以降は翌診療日の承りとなります。

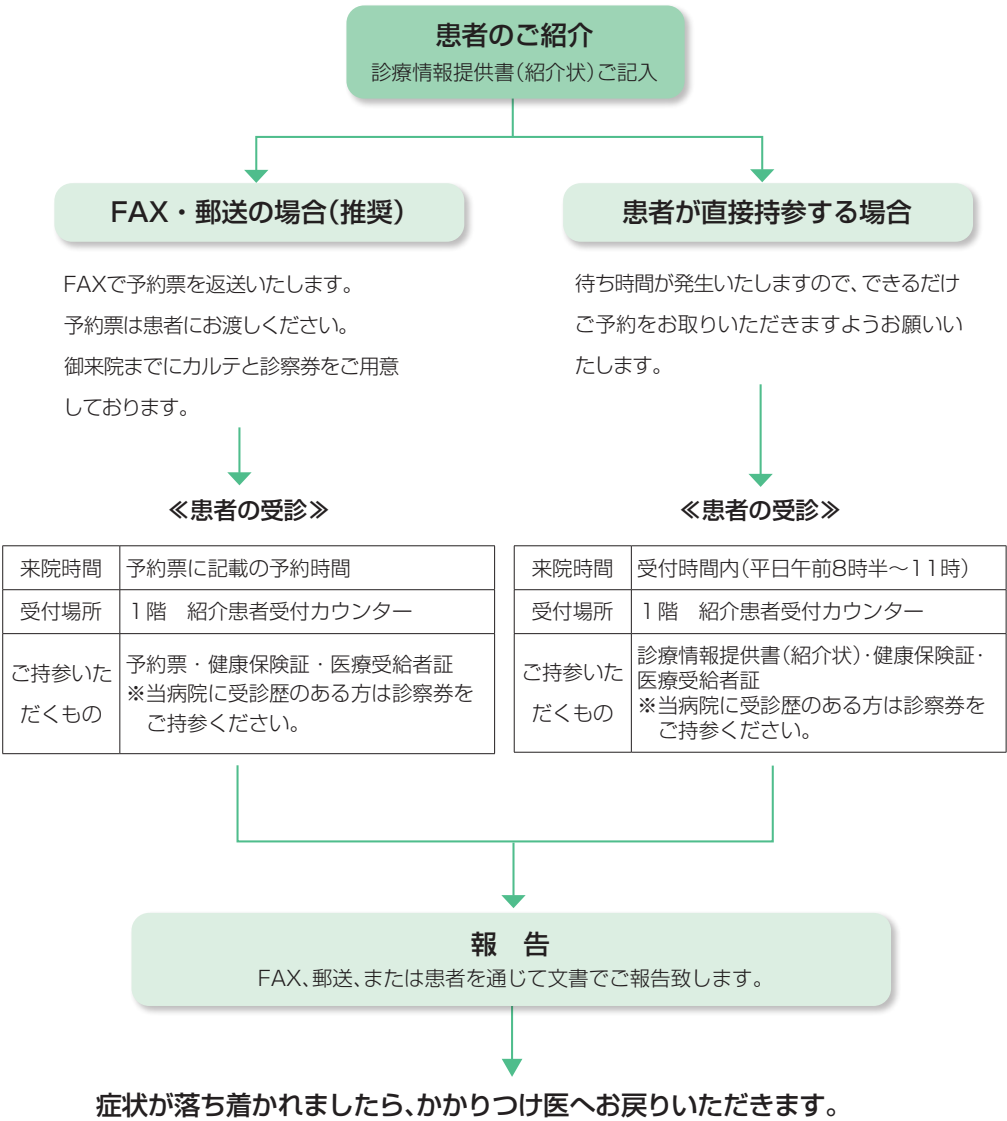
なお、眼科・小児科・ペインクリニック科につきましては、医師による診療情報提供書確認後の予約となりますので、返送までにお時間をいただいております。

患者の受診当日には、診察券、カルテを作成し、診療の準備をしてお待ちしております。

※各種検査予約

- ・冠動脈CT検査・栄養指導も承っています。
- ・放射線科検査のお申し込みは「放射線科検査受付」のページ（P53）をご参照ください。
- ・内視鏡検査のお申し込みは「内視鏡検査受付」のページ（P54）をご参照ください。

■患者のご紹介から受診までのご案内



総合相談窓口

- ・セカンドオピニオン外来（P9参照）の受付
- ・医療・看護・福祉・介護に関する相談
- ・専門的な看護外来の受付

がん相談、ストーマ、リンパ浮腫、透析予防、フットケア、心不全、認知症など各分野の専門的知識と技術を持った看護師が医師など多職種と連携しながら患者の生活を支援します。

●看護外来のご案内

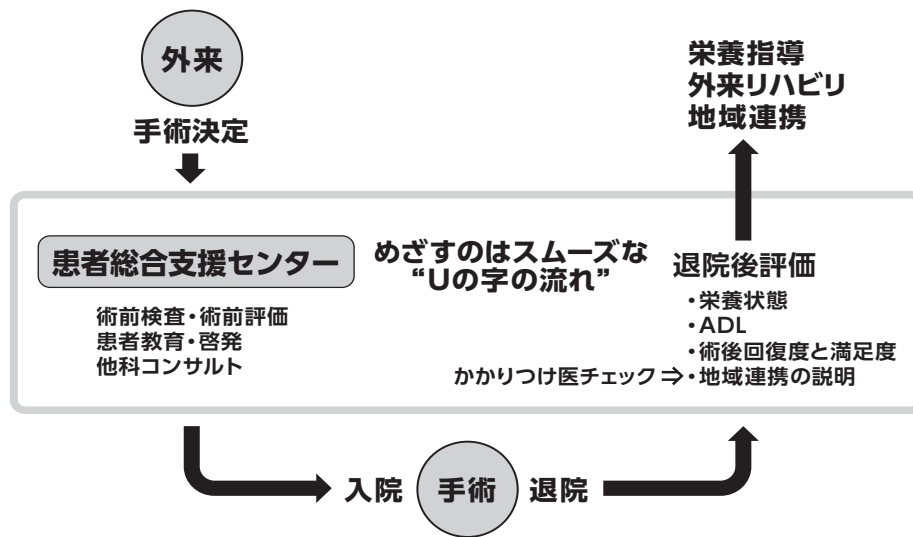
	ストーマ	排尿ケア	フットケア	透析予防	心不全看護	認知症看護	がん看護	リンパ浮腫	圧迫療法ケア
月曜日		9～12:00			9～12:00		9～12:00 13～16:00		
火曜日							9～12:00 13～16:00		
水曜日			13～16:00	10:30～11:00 13:00～13:30		9～12:00 13～16:00	9～12:00 13～16:00		
木曜日	9～12:00		11～12:00				9～12:00 13～16:00		
金曜日					9～12:00		9～12:00 13～16:00	14～15:00 15～16:00	9～11:00

看護外来をご希望される場合は患者総合支援センターにご連絡ください。

入退院支援・在宅医療支援

近年、複数の併存疾患を有した高齢者の増加、複雑で難度の高い手術例の増加に加えて、一般社会の意識の高まりによる医療者側への要求レベルの上昇、ジェネリック医薬品の増加とサプリメントの氾濫など手術を取り巻く環境は急激に変化してきています。しかも前日入院例が増加し、外来の限られた時間内でリスク評価をする上で主治医のみでは効率が悪く、診療科スタッフだけでも十分な対応が難しくなっています。周術期管理を安全にかつ効率よく実施するためには多くの専門知識が必要となり、多科・多職種のチームアプローチが必要不可欠と思われます。入院前から在宅療養まで切れ目なく支援できるよう、平成29年3月末から運用を開始いたしました。

■患者総合支援センターを中心とした周術期の流れ



1. 手術が決定されますと、各科外来で術前検査などが記載されている指示書にチェックを入れ、患者を患者総合支援センターに案内します。
2. 患者総合支援センターで指示書に従って術前検査のオーダーや予約をいたします。
3. 検査上異常があれば循環器内科などの他科コンサルトや追加検査のオーダーを行います。
4. 高齢者総合的機能評価のスクリーニングを行います。
5. 手術までに中止すべき薬剤に漏れないよう、薬剤師が持参薬のチェックを行います。
6. リハビリテーション科で、握力などの身体測定や手術まで自宅でできる運動リハや呼吸リハの指導をいたします（消化器外科のみ）。
7. 手術にむけての栄養指導を行っています。
8. 麻酔科による術前診察で追加の検査オーダー等が出れば対応します。
9. 入院に必要な物品などの説明をします。

西宮市立中央病院「連携医制度」のご案内

■連携医制度とは…

地域の医療機関の皆様と西宮市立中央病院が相互に協力しながら、地域医療の充実と発展を目的に、相互の連携を強化し患者にとって良質の医療を提供するために「連携医制度」を平成28年4月より発足しました。

※平成18年10月に開放型病院の認定を受け登録医制度を発足しましたが、平成28年4月より連携医制度に移行し、従来の開放型病院共同診療のみならず、より連携を強化するべく拡大して参ります。

■連携医の取組み

- ・「連携証」を配付し医院に掲示
- ・中央病院のホームページに連携医の一覧掲示
- ・中央病院のホームページから各医院のホームページにリンク
- ・紹介患者のスムーズな診療
- ・開放型病院としての病院利用
- ・病棟で紹介患者の診療内容をご覧いただき、主治医と直接相談
- ・当院の高度医療機器（3TのMRI、320列CT…）を利用
- ・手術の見学
- ・当院が主催する、地域医療セミナーへの参加
- ・中央病院図書室の利用
- ・主治医との共同診療を行った場合、1回の診療で350点分の診療報酬（2次医療圏内の医療機関に限る）
- ・メーリングリストで情報提供

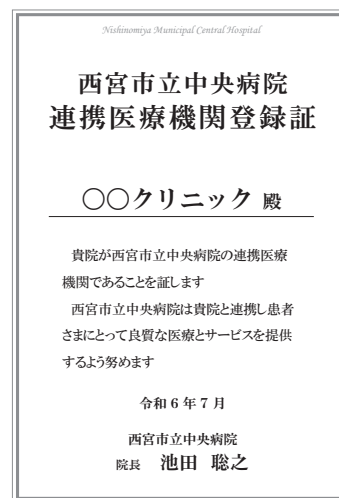
■登録申込み手順

医療機関

西宮市立中央病院

- ① 西宮市立中央病院ホームページより「連携登録医申請書」（PDF形式／103KB、Word形式／59KB）をダウンロードしてください。
- ② 必要事項を記入して、患者総合支援センターに郵送又はFAX(0798-67-4896)してください。

- ③ 「連携証」をお届けします。貴院にご掲示ください。



「連携証」

検査予約システムの導入について

当院では、一部の検査（MRI、CT、DEXA、超音波）において、インターネットを利用した『検査予約システム』を導入しています。システムの概要については以下の通りです。

システムの概要

- ・ 当院ホームページより検査の予約が可能です（24時間受付）。
- ・ 患者さんをお待たせすることなく、検査の日時を決定できます。
- ・ 検査予約票、承諾書をその場でプリントアウトできます。

必要な機器

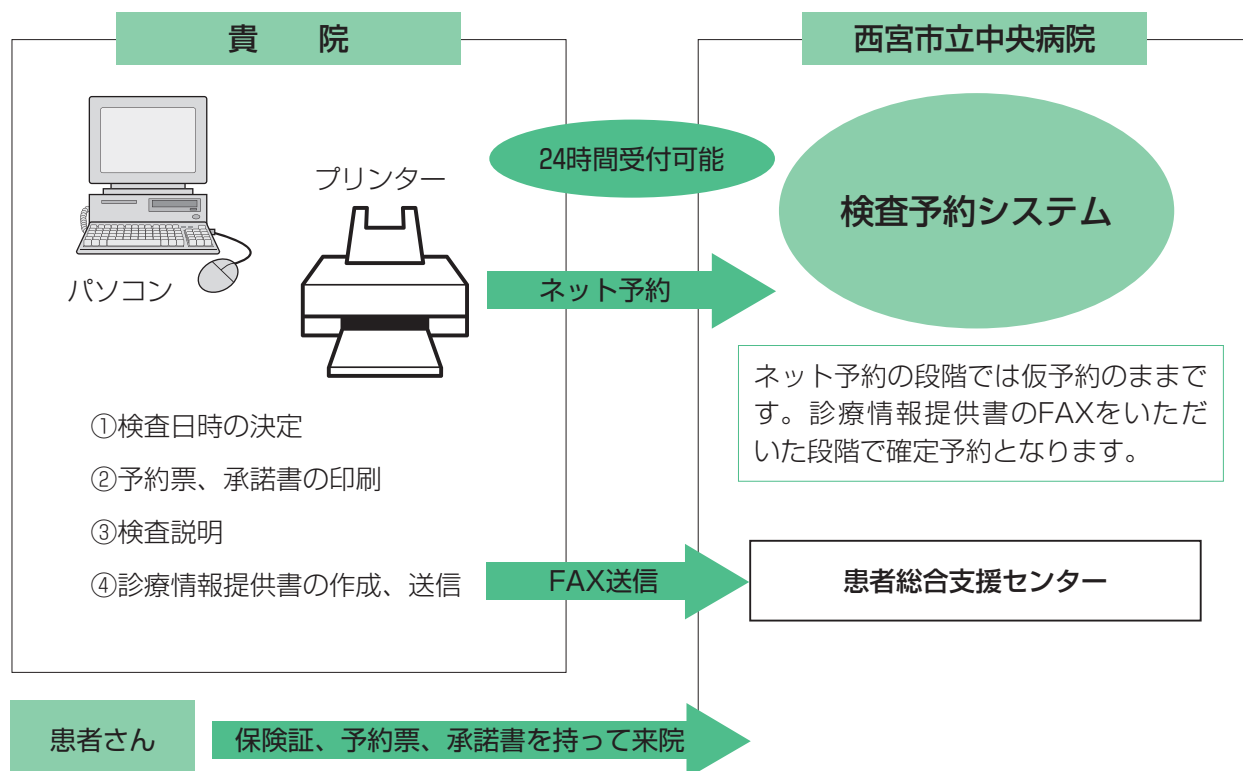
- ・ パソコン、プリンター



このシステムをご利用いただくにはIDとパスワードが必要です。

（登録料及び利用料は必要ありません。）

下記お問い合わせ先までご連絡ください。



—検査予約システムに関するお問合せ先—

E-mail : h_iji@nishi.or.jp

T E L : 0798-64-1540（土日・祝日を除く午前8：30～午後5：00）

F A X : 0798-67-4896

西宮市立中央病院 患者総合支援センター

放射線科検査受付

当院では、320列マルチスライスCT装置、3テスラMRI装置を用いた単純・造影撮影に加え、一般撮影検査や透視撮影検査（注腸検査）を受け付けております。

種 類				内 容
C		T		全身に対応
M		R	I	全身に対応
一	般	撮	影	胸部、腹部、骨など
D	E	X	A	骨密度測定

申 し 込 み 方 法

電話またはFAXによる予約

放射線科検査申込書（診療情報提供書）
を送信してください。

TEL 0798-64-1540

FAX 0798-67-4896

予約票をFAXで送信いたします。
（時間内受付の場合は直後に返送）

※注腸などの前処置の必要な検査の場合は、
説明・準備のため患者さんまたはご家族の方
にあらかじめ受診していただきます。

インターネットを使用した予約 （CT・MRI・DEXAのみ）

検査予約システム（当院HP内）で検査の空
き状況を確認し、予約が可能です。

「予約票」「検査問診票」等が
印刷できます。

予約日に検査を受けていただき、後日結果をご報告いたします。
※検査後、患者さんにデータCD-Rをお渡しいたします。

●単純CT検査の当日受け入れについて

当院のCT装置を幅広くご利用いただくため、単純CT検査につきまして、当日依頼の受付を行っています。
患者総合支援センターにお電話でお申し込みください。

＜検査受付時間＞

午前9時～11時45分

午後1時～4時（月・水は午後3時まで）

内視鏡検査受付

申 し 込 み 方 法

上部消化管内視鏡(胃カメラ)

■当院の診療情報提供書（紹介状）をご記入のうえ、患者総合支援センターへFAXをお送りください。

FAX受付時間 午前8：30～午後7：00

検査予約をお取りし、予約票・検査注意事項・検査問診票を折り返しFAXします。患者さんには、検査日に「紹介患者受付」で受付後、内視鏡センターで検査を受けていただきます。

検査曜日：月～木曜日の午前中

下部消化管内視鏡(大腸ファイバー)

(1) 当院の診療情報提供書に必要事項をご記入のうえ、患者総合支援センターへFAXをお送りください。

FAX受付時間 午前8：30～午後7：00

(2) 下記（４）に該当する患者さんにつきましては、予約票・検査注意事項・検査問診票を折り返しFAXします。

(3) 下記（４）に該当しない患者さんにつきましては、検査日時と検査日３日前までの内科または外科外来受診の予約をお取りして、FAXで予約票を返送します。

(4) 条件は下記のとおりです。

①75歳までの重篤な合併症がない患者さん

②モビプレップ内服が可能な患者さん（CRE1.2mg/dl以下）

③治療ではなく検査目的の患者さん

④ADL自立またはご家族等の付添いが可能な患者さん

検査曜日：月・水・木・金曜日

外来診察日：月～金曜日

(5) 症状が明らかな方（排便障害・便柱狭小・血便など）は、まず外来に紹介ください。

患者総合支援センター

電話 (0798) 64-1540

FAX (0798) 67-4896

上部・下部消化管ともに当日緊急検査が必要な場合は内視鏡センターまで直接お電話でお問い合わせください。

人間ドックのご案内

人間ドックの種類及び内容

■半日コース

区 分	料 金 (税込)※	実施曜日 (祝日を除く)	内 容
半日一般ドック	44,000円	月曜日 火曜日 水曜日	尿検査、血液検査全37項目、X線検査、腹部超音波検査、心電図検査、子宮頸癌検査など
半日一般脳付ドック	71,500円	月曜日 水曜日	上記検査に加えて、MRI、眼底検査などの脳ドック項目を実施
半日脳ドック	46,200円	水曜日 金曜日	MRI・MRA検査、血液検査全28項目、眼底検査、心電図検査
半日肺ドック	39,600円	水曜日	喀痰細胞診、胸部マルチスライスCT検査、胸部X線検査
半日心臓ドック	66,000円	金曜日	冠動脈CT検査、心臓超音波検査 血液検査全29項目、内臓脂質検査、動脈硬化検査

■1日コース

区 分	料 金 (税込)※	実施曜日 (祝日を除く)	内 容
1日ドック(脳付き)	99,000円	火曜日	尿検査、血液検査全41項目、X線検査、腹部超音波検査、心電図検査、子宮頸癌検査、動脈硬化検査、頸部超音波検査、MRI・MRA検査など(一部院外実施) ※昼食付き

■1泊2日コース

区 分	〈ホテル宿泊〉 料金(税込)※	〈自宅泊〉 料金(税込)※	実施曜日	内 容
1泊2日ドック	94,600円	72,600円	木～金曜日	半日一般ドックの検査項目に加えて、動脈硬化検査、糖負荷検査や甲状腺機能などの血液検査全47項目、眼底眼圧検査、前立腺検査、乳房検査(マンモグラフィ)などを実施。また、希望者には内臓脂肪検査を無料で実施。 〈ホテル宿泊〉 宿泊には近郊のホテルをご利用いただき、タクシーにより無料送迎。1日目の昼食(院内)と夕食(ホテル)は料金に含まれております。 〈自宅泊〉 1日目の昼食(院内)は料金に含みます。 (自宅への送迎・夕食の提供はありません)
1泊2日ドック (脳付き)	124,300円	102,300円		
1泊2日ドック (肺付き)	115,500円	93,500円		
1泊2日ドック (脳・肺付き)	145,200円	123,200円		

※令和6年7月1日現在。

■オプション検査(予約制ですので、ドック申込時にあわせてお申し込みください)

有料オプション検査

検 査 名	料金(税込)※	備 考
PET—CT(院外実施)	99,000円	1泊2日ドック、1日ドック、半日一般ドック、半日一般脳付ドック
聴力検査(オーディオメーター)	1,815円	1日ドック、半日一般ドック、半日一般脳付ドック
歯科口腔疾患検査	7,700円	1泊2日ドック
ピロリ菌検査(便採取法)	2,475円	1泊2日ドック、1日ドック、半日一般ドック、半日一般脳付ドック
ピロリ菌検査(内視鏡下生検法)	6,105円	上部消化管内視鏡検査実施者のみ
HPV検査(HPV高リスク判定)	5,940円	婦人科検診実施者のみ
骨密度検査(DEXA法)	3,960円	1泊2日ドック、1日ドック、半日一般ドック、半日一般脳付ドック
肺がん腫瘍マーカー(シフラ、ProGRP)	3,960円	1泊2日ドック、1日ドック、半日一般ドック、半日一般脳付ドック
婦人科系がん腫瘍マーカー(CA125)	1,320円	1泊2日ドック、1日ドック、半日一般ドック、半日一般脳付ドック
消化器系がん腫瘍マーカー(CA19-9)	2,475円	半日一般ドック、半日一般脳付ドック
鎮静剤費用(上部消化管内視鏡検査時)	4,400円	上部消化管内視鏡検査実施者のみ
肺ドック(喀痰細胞診、胸部CT)〈受診日とは別の日に実施〉	29,700円	半日一般ドック、1日ドック、半日一般脳付ドック

※令和6年7月1日現在。

■特定健康診査項目への対応について

当院の人間ドックは、半日肺ドックを除く全てのコースが特定健康診査の検査項目を満たしており、人間ドックを受診することにより、特定健康診査を受診したものとみなされます。

■上部消化管(食道・胃・十二指腸)検査について

上部消化管検査は、内視鏡検査(経口または経鼻)となります。

■精密検査が必要とされた場合について

各種の診療科を備えた病院のメリットを生かし、必要に応じて様々な検査を実施することが可能です。(要専門科受診)※脳神経外科、耳鼻咽喉科などを除く

■結果報告について

約1か月後、ご本人宛てに結果を郵送します。

■受診時の移動について

受診時の移動は階段の昇降となります。(構造上、エレベーターをご利用いただけない箇所があります)お一人で階段の昇降が難しい方は事前にご相談ください。

人間ドックは予約制です。

ご希望の方は下記へお申し込みください。

＜ご予約・お問合せ先＞

西宮市立中央病院：電話 (0798) 64-1515

健康管理センター：内線201

受付時間：午前9時～午後4時(土・日・祝日を除く)

診療情報提供書

西暦 年 月 日

西宮市立中央病院 患者総合支援センター 宛

(希望受診科)	医療機関名
	所在地
	紹介医 印
	電話 () -
	FAX () -

(受診希望日)											
特になし	第1希望	月	日	第2希望	月	日	第3希望	月	日		

ふりがな	生年	M	T	S	H	R
患者氏名	月日					
様 男 ・ 女 歳		年	月	日		
患者住所 〒 -						
電話番号 () -						
当院受診歴の有無 有 ☐ ・ 無 ☐ ・ 不明 ☐						

病名		既往歴及び家族歴
紹介目的		
病状経過 及び 審査結果 ・ 治療経過 ・ 現在の 処 方	【 薬剤アレルギー：有 (薬剤名) ・ 無 】	

西宮市立中央病院 患者総合支援センター

受付	FAX (0798)67-4896	月曜～金曜	午前8:30～午後7:00
		土曜	午前8:30～午前12:00
	電話 (0798)64-1540	月曜～金曜	午前8:30～午後5:00

診療情報提供書(栄養指導用)

西宮市立中央病院 患者総合支援センター 宛

西暦 年 月 日

栄養指導

(指導日) 西暦 年 月 日 ()
 西暦 年 月 日 ()
 実施曜日: 月～金曜
 ただし火曜日はご相談ください

医療機関名

所在地

紹介医

電話 () —

FAX () —

印

ふりがな	生年	M	T	S	H	R
患者氏名	月日				年	月 日
様 男 ・ 女 歳						
患者住所〒						
電話番号() —						
当院受診歴の有無 有 ☐ ・ 無 ☐ ・ 不明 ☐						

病名				身長	cm
紹介目的				体重	kg
熱量(カロリー)	塩 分(g)	たんぱく質(g)	その他	血圧	
				既往歴及び家族歴	
※血液検査の結果を添付してください					
症状経過 及び 検査結果 ・ 治療経過 ・ 現在の 処 方					

西宮市立中央病院 患者総合支援センター

受付 FAX (0798)67-4896 月曜～金曜 午前8:30～午後7:00

土曜 午前8:30～午前12:00

電話 (0798)64-1540 月曜～金曜 午前8:30～午後5:00

放射線科検査申込書(診療情報提供書)

西曆 年 月 日

西宮市立中央病院 患者総合支援センター 宛

放射線科		医師	
受診希望日	西暦	年	月 日()
検査種			
☐ CT撮影(単純)	☐ CT撮影(造影)		
☐ MRI撮影(単純)	☐ MRI撮影(造影)		
☐ 一般撮影	☐ 透視検査(注腸)		
☐ DEXA(骨密度)			

医療機関		
所在地		
紹介医		(印)
電話	()	—
FAX	()	—

ふりがな	生 年 月 日	M T S H R
患者氏名	歳 男 ・ 女	年 月 日
患者住所 〒 —		
電話番号 () —		
当院受診歴の有無 有 ☐ ・ 無 ☐ ・ 不明 ☐		

病名			既往歴及び家族歴
紹介目的			
腎機能低下(造影検査依頼時)	☐ 無 ☐ 有 (血清クレアチニン mg/dl (年 月 日)		
ビグアナイド系糖尿病薬の服用(造影CT検査依頼時)		☐ 無 ☐ 有 ☐ 不明	

[illegible]

西宮市立中央病院 患者総合支援センター

受付	FAX	(0798)67-4896	月曜～金曜	午前8:30～午後7:00
			土曜	午前8:30～午前12:00
	電話	(0798)64-1540	月曜～金曜	午前8:30～午後5:00

内視鏡検査申込書(診療情報提供書)

西曆 年 月 日

西宮市立中央病院 患者総合支援センター 宛

□ 上部消化管内視鏡
(経口 □ ・ 経鼻 □)
□ 下部消化管内視鏡
(所定の条件に該当しない方は検査前に外来受診が必要となります。)

医療機関名
所在地
紹介医
電話 () —
FAX () —

(検査希望日)

特になし	第1希望	月	日	第2希望	月	日	第3希望	月	日
------	------	---	---	------	---	---	------	---	---

[illegible]

西宮市立中央病院 患者総合支援センター

受付	FAX	(0798)67-4896	月曜～金曜	午前8:30～午後7:00
			土曜	午前8:30～午前12:00
	電話	(0798)64-1540	月曜～金曜	午前8:30～午後5:00

診療情報提供書（冠動脈 CT 検査依頼）

検査を安全かつ円滑に施行するため下記用紙に必要事項のご記入をお願いいたします。
お手数をおかけいたしますが、ご協力のほどお願いいたします。

医療機関名 _____
所在地 _____
紹介医 _____ 印
電話（ ） _____
FAX（ ） _____

ふりがな 患者氏名	男・女	生年月日	年 月 日 (歳)
住所		電話	
当院受診歴の有無 有 ☐ ・ 無 ☐ ・ 不明 ☐			
傷病名			
既往歴・患者情報 ☐ 造影剤アレルギー ☐ 気管支喘息 ☐ 冠攣縮性狭心症 ☐ 心房細動 ☐ 大動脈弁狭窄症・肥大型心筋症 ☐ ペースメーカー術後 ☐ 腎機能障害 (これらの疾患が存在した場合、冠動脈 CT 検査を断らせていただくことがあります。)			
最近のクレアチン値 (Cr) をご記入ください。 Cr mg / dL (月 日採取)			
症状経過・治療経過 (簡潔で結構です)			
処方			
備考			

※尚、冠動脈 CT 検査は、専用の時間設定があるため、電話にてのご予約に限らせていただきます。

また、心拍数が 65 / 分を超える場合 β 遮断薬 (セロケン もしくは ロブレゾール) の処方をお願いいたします。

このたびは患者さんのご紹介、まことに有難うございました。

西宮市立中央病院

西宮市立中央病院 冠動脈 CT 受診依頼票

当日の検査を安全に行うため下記項目を患者にご確認の上、診療情報提供書とともに FAX にて送信下さい。お手数おかけしますが、ご協力のほどよろしくお願い致します。

患者氏名 _____ 男 ・ 女 _____ 生年月日 _____

① アレルギー体質または、現在治療しているアレルギーの病気がありますか？

☐ なし

☐ あり（じんましん・かぶれ・気管支喘息・アレルギー性鼻炎・その他（ ））

② 今までに造影剤の注射を使用した検査をしたことがありますか？

☐ なし

☐ あり（いつ頃 年 月頃）

③ 以下の内容で該当する事がありますか？

☐ 腎臓が悪いといわれたことがある。

☐ 甲状腺の病気で現在治療をしている。

☐ 現在糖尿病で内服加療をしている。

（メデット・メルビン・グリコラン・メトグルコ・その他（ ））

☐ 息止め指示の声掛けで 10～15 秒程度息止めができない。

☐ β 遮断薬の投与ができない（セロケン・ロプレソール・コアベータ注射薬）

☐ 現在妊娠または授乳をしている。

☐ 上記項目で該当する事項はない。

注意事項（患者へ事前説明をお願いします）

当日の検査は、造影剤を注射しながら行う検査です。検査 2 時間前に心臓の脈を遅くする β 遮断薬（セロケン もしくは ロプレソール）を内服いただきます。造影剤は病気の状態を一層正確に診断するために使用するもので、正確かつ最良の治療方針を立てるために非常に重要なものです。極めてまれ（10 万人～20 万につき 1 人）に治療を要する血圧低下やショック等の重大な症状を引き起こすことがあります。病状・体質によっては約 40 万人につき 1 人の割合で死亡する場合があります。造影剤検査中・検査後に吐き気・かゆみ・発疹等の症状が現れた場合はすぐに申し出て下さい。

医療機関名	所属	記入者
-------	----	-----

西宮市立中央病院 患者総合支援センター・放射線科・循環器内科
FAX (0798) 67-4896
電話 (0798) 64-1540

抜毛症（ばつもうしょう）ってご存知ですか？

今急増している抜毛症を理解するための資料です。



資料ダウンロード

一般社団法人 日本抜毛症改善協会監修



協会ホームページ



ダメだとわかっていても髪を抜いてしまう強烈な衝動（クセ）

あなたの周りでもずうっと髪を引っ張っている人、プチプチと引きちぎっている人、不自然にハゲた部分のある人を見かけた事があるかもしれません。それこそが抜毛症（ばつもうしょう）と言います。特に10代女性に多く存在し、日本全国に250～300万人もいると言われています。学校に例えると各教室に1～2名くらいはいる感じです。新型コロナウィルスの世界的まん延によりその数は今も尚増加していると言われています。



抜毛症は20歳未満女性が40.5%

抜毛症は20歳未満での発症が非常に多く、そのほとんどが女性であるというのが大きな特徴です。男性も近年増加傾向にあり、今年初めて男性の相談件数が10%を超えました。10代前後で発症してから20代、30代、40代、と継続する割合が非常に高いのも特徴であり軽度の抜毛症であれば自然に改善する場合もありますが、重度の場合は非常に改善が困難なものです。にもかかわらず、正式には病気として成立しておらず薬物療法も確立していないのが大きな問題です。最近ではスクールカウンセラー、皮膚科、心療内科、精神科からのご紹介も増加傾向にあります。

カラーを楽しみたい！お洒落への執念が最大抑止力



協会理念：お洒落を楽しみながらみんな幸せに

抜毛症になってしまうと普通にお洒落を楽しむことが出来なくなります。改善の為に重要な要素としていかに抜毛部位を自然にカバーして安心して日常生活が出来るのか？どのように問題点を克服して難しい中でもお洒落を楽しむのか？という事が重要です。お洒落を楽しむことで改善のモチベーションも上がり改善速度が上がります。そして、それは本人のみならずご家族を支えてくれる方々の幸せにもつながります。上記の2例はいずれも重度の抜毛症の状態からヘアデザインを駆使しながら改善した事例です。このように抜毛症を改善していく上でお洒落を楽しむことは重要な要素のひとつです。

抜毛症を知る為の動画のごあんない

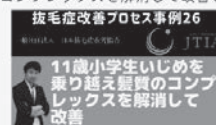
●アニメ動画で抜毛症を理解する

抜毛症を簡単に理解するのに役立つ動画です。11歳小学生いじめを乗り越え髪質のコンプレックスを解消して改善した事例



●抜毛症の改善事例動画

抜毛症改善プロセス事例26



一般社団法人 日本抜毛症改善協会
所在地：662-0075 兵庫県西宮市南越木岩町15-1
ループコート苦楽園2F K'SMADAM
mail: tricho.jp@gmail.com HP: https://tricho.jp/



抜毛症を知る為の各種ごあんない

対象：ご両親・抜毛症の方・学校関係者 ●基礎から学ぶ『抜毛症』うつ・不登校・引きこもりの教科書
抜毛症に関する基礎知識はこのメルマガで全て学べます。
【抜毛症を理解する為の必読書】

対象：ご両親 ●たった一つの質問であなたとお子様の関係性がわかる魔法の質問
約10秒で客観的に自分がどんな性質をもっているのか知る事が出来ます。

対象：ご両親・抜毛症の方・学校関係者 ●抜毛症や子供から紐解く親子の関係改善や関わり方の教科書
抜毛症を深く理解するためにあらゆる角度から学びを深めます。協会公式メルマガ

対象：ご両親・学校関係者 ●一社）日本抜毛症改善協会副理事長 福岡恭子公式メルマガ
8300名以上の悩みに対応してきたベテランカウンセラーがお送りする（特に大人の女性）必読のメルマガ

一般社団法人 日本抜毛症改善協会
所在地：662-0075 兵庫県西宮市南越木岩町15-1 ループコート苦楽園2F K'SMADAM
mail: tricho.jp@gmail.com HP: https://tricho.jp/



○ 協会本部 〒662-0075

兵庫県西宮市南越木岩町

15-1ループコート苦楽園2F

K'S MADAM 内

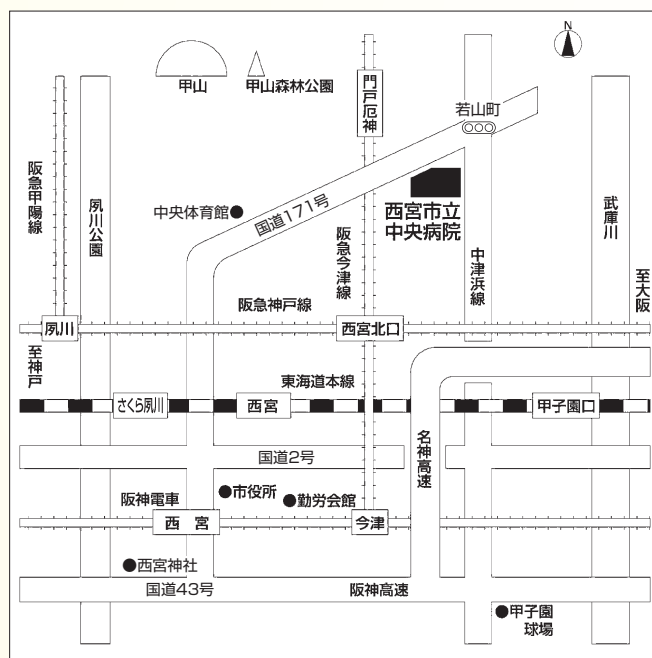
○ 東京オフィス 〒107-0062

東京都港区南青山2丁目2番15号

ウィン青山942

Mail: tricho.jp@gmail.com

西宮市立中央病院



所在地 〒663-8014 兵庫県西宮市林田町8番24号
 電 話 0798-64-1515
 最寄りの駅 阪急電車 門戸厄神駅 南東へ徒歩10分
 他の交通機関 阪急バス 西宮北口駅前発 西宮中央病院前下車
 JR甲子園口駅前発 西宮中央病院前下車
 駐車スペース 99台有り